会長		担当理事		会計	

新医第３３１号（業）
令和４年９月１６日

関東甲信越医師会連合会所属医師会長　　様

新潟県医師会
会長　堂前　洋一郎

令和４年度関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会
全体協議会の動画配信について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和４年８月２７日に開催いたしました標記分科会全体協議会の動画を期間限定で配信いたします。

つきましては、ご繁忙のところ恐縮に存じますが、貴職より貴会関係地区医師会、共同利用施設への周知につきまして、ご高配の程よろしくお願い申し上げます。

記

【動画配信（YouTube）】

URL：　https://youtu.be/7nRXVZUvc8I

※上記URLにつきましては、関係者のみで共有いただき、一般閲覧可能なHP等への掲載は、行わないよう取り扱いに十分ご注意願います。

【動画配信期間】

令和４年９月16日（金）から令和４年10月31日（月）まで

新潟県医師会業務課
〒951-8581 新潟県新潟市中央区医学町通2-13
TEL 025-223-6381 / FAX 025-224-6103
E-mail:gyoumu@niigata.med.or.jp

新加入潮医師会
収受
4.9.20
第667号

令和４年度

関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会

全体協議会次第

日時　令和４年８月27日（土）14:00～17:15

場所　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟 3階「飛翔（西）」

司会　新潟県医師会理事　　鈴　木　榮　一

1. 開　　会
2. 挨　　拶　　新潟県医師会長　　堂　前　洋一郎
3. 祝　　辞　　日本医師会長　　松　本　吉　郎　様
　　新　潟　県　知　事　　花　角　英　世　様
4. 都県医師会代表者会議報告　　新潟県医師会理事　　鈴　木　榮　一
5. シンポジウム（１４：３０～１６：００）

座長　新潟県医師会理事　　小　柳　　亮

テーマ：「地域包括ケアシステム推進を見据えた在宅医療推進センターの現状と課題」

①新潟県医師会理事　　小　柳　　亮
②新潟市医師会在宅医療推進センター　センター長　　横　田　樹　也　様
③しばた地域医療介護連携センター　センター長　　平　塚　雅　英　様
④埼玉県医師会　副会長　　丸　木　雄　一　様
⑤ディスカッション

総　　括　　日本医師会常任理事　　今　村　英　仁　様

－　休　憩　－

6. 特別講演（１６：１０～１７：１０）

座長　新潟県医師会会長　　堂　前　洋一郎

演題　「新潟大学における日本酒学（Sakeology）の展開」

講師　新潟大学日本酒学センター　　センター長　　鈴　木　一　史　様

7. 次年度当番県医師会挨拶
8. 閉　　会　　新潟県医師会副会長　　塚　田　芳　久

令和４年度
関東甲信越医師会連合会
医師会共同利用施設分科会

開催日　令和４年８月２７日（土）

場　所　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟
新潟市中央区万代5−11−20
TEL 025-245-3333

当番県　新潟県医師会

会　場　ご　案　内

都県医師会 代表者会議	13：00～13：45	3階　飛翔（東）
全体協議会	14：00～17：15	3階　飛翔（西）

目　　次

次　　第 ・・・・・・・・・・・・・・・・・1

シンポジウム ・・・・・・・・・・・・・・・・3

特　別　講　演 ・・・・・・・・・・・・・・・35

医師会共同利用施設一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・49

医師会立看護師等養成所一覧 ・・・・・・・・・・・・・61

令和４年度
関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会次第

日時　令和４年８月27日（土）14:00～17:15
場所　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟

【都県医師会代表者会議】　３階「飛翔（東）」　（１３：００～１３：４５）

【全体協議会】　３階「飛翔（西）」　（１４：００～１７：１５）

司会　新潟県医師会理事　鈴木榮一

1. 開　会
2. 挨　拶　新潟県医師会長　堂前洋一郎
3. 祝　辞　日本医師会長　松本吉郎　様
　新潟県知事　花角英世　様
4. 都県医師会代表者会議報告　新潟県医師会理事　鈴木榮一
5. シンポジウム（１４：３０～１６：００）

座長　新潟県医師会理事　小柳　亮

テーマ：「地域包括ケアシステム推進を見据えた在宅医療推進センターの現状と課題」

①新潟県医師会理事　小柳　亮
②新潟市医師会在宅医療推進センター　センター長　横田樹也　様
③しばた地域医療介護連携センター　センター長　平塚雅英　様
④埼玉県医師会副会長　丸木雄一　様
⑤ディスカッション

総　括　日本医師会常任理事　今村英仁　様

－ 休 憩 －

6. 特別講演（１６：１０～１７：１０）

座長　新潟県医師会会長　堂前洋一郎

演題　「新潟大学における日本酒学（Sakeology）の展開」
講師　新潟大学日本酒学センター　センター長　鈴木一史　様

7. 次年度当番県医師会挨拶
8. 閉　会　新潟県医師会副会長　塚田芳久

シンポジウム

「地域包括ケアシステム推進を見据えた在宅医療推進センターの現状と課題」

新潟県医師会在宅医療推進センターの取組

新潟県医師会
理事　小　柳　　亮

小柳　亮（こやなぎ りょう）先生　ご略歴

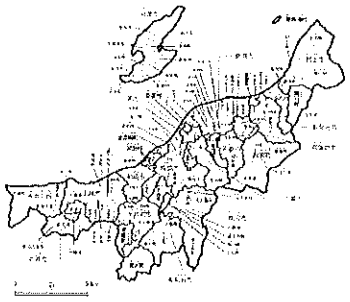
1998 年	川崎医科大学卒業
1998 年～2001 年	厚生労働省医系技官
2001 年	東京女子医科大学病院
2003 年～2007 年	東京女子医科大学大学院 医学博士号取得
2007 年～2012 年	東京女子医科大学循環器内科助教
2012 年～	KOYANAGI 真柄 CLINIC 開業
2013 年～	日本医師連盟医政活動研究会新潟支部副幹事
2016 年～	新潟市医師会代議員
2016 年～2020 年	新潟市医師会 SWAN ネット運営部会部会長
2018 年～2020 年	新潟県医師会地域保健委員会委員
	新潟市医師会在宅医療・在宅ネット運営協議会委員
2020 年～	新潟県医師会理事
2020 年 9 月～2022 年 6 月	日本医師会未来医師会ビジョン委員会委員

令和4年度 関東甲信越医師会連合会医師会
共同利用施設分科会
令和４年８月 27 日（土）

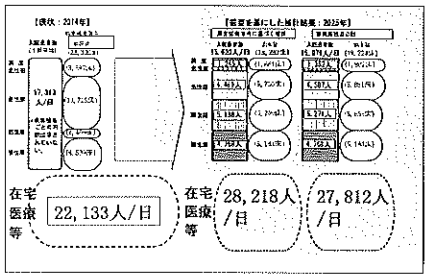
新潟県医師会在宅医療推進センターの取組

新潟県医師会理事/在宅医療推進センター担当
小野 亮

推計人口	2,176,879人 （2021年10月1日現在）
人口密度	172.99人/km2
市区町村数	20市（8区| 6町 4村 ／計 30市町村R
政令指定都市	新潟市
二次医療圏	7
郡市医師会	16
医師総数	43位 ２１８・２人/人口１０万人 2020年
医師偏在指標	46位 岩手と同順位で全国最低（令和2年医師需給分科会より）



新潟県の現状（入院患者数）と 2025 年の推計

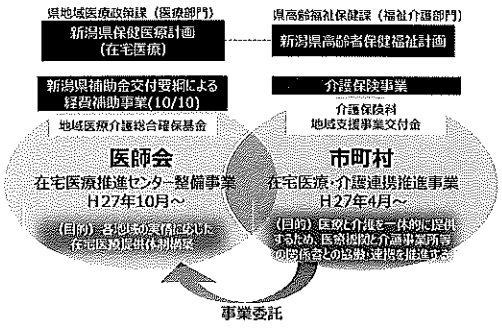


新潟県地域医療構想より

新潟県在宅医療推進センターのネットワーク
（17地域センター＋基幹センター）

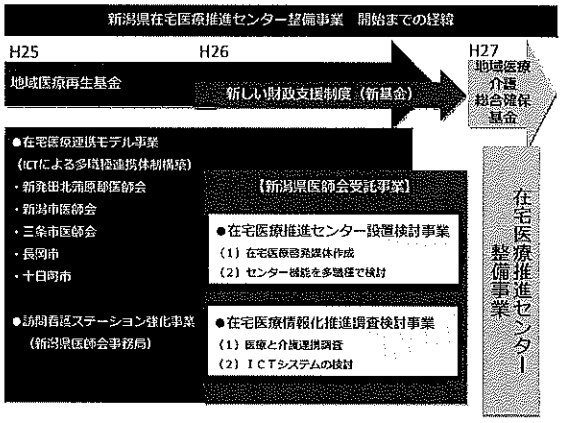


新潟県在宅医療推進センター整備事業と在宅医療・介護連携推進事業の関係

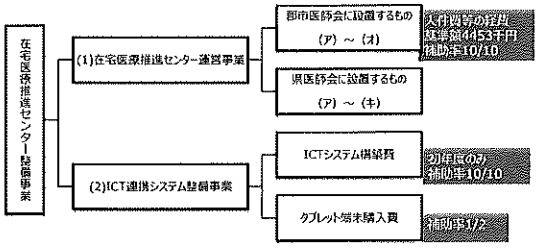


（委託の有無にかかわらず）市町村と医師会が、それぞれの地域で目指す姿を共有し協働する

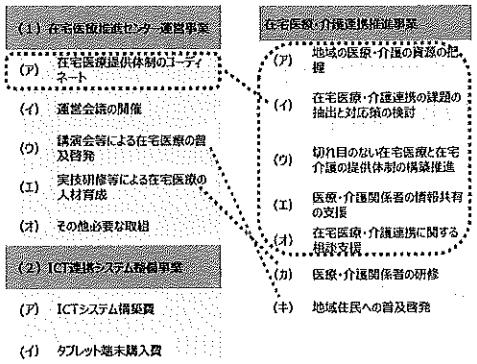
新潟県在宅医療推進センター整備事業　開始までの経緯



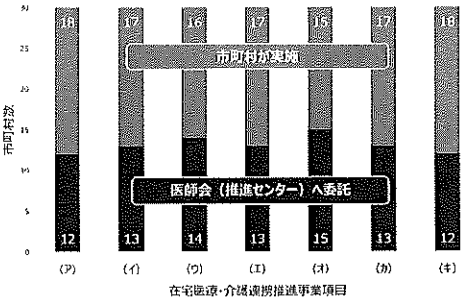
新潟県在宅医療推進センター整備事業　概要



新潟県在宅医療推進センター整備事業項目と在宅医療介護連携推進事業項目

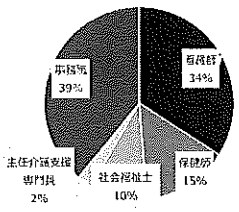


在宅医療・介護連携推進事業委託状況（R4.3月時点）

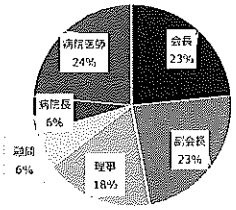


都市医師会在宅医療推進センターの人員配置状況（R４年度）

- 補助金の申請にあたっては、配置職員の職種等の定めはない。
- 市町村事業の委託を受けず補助金のみで運営している場合、医師会常勤雇用は難しく、以下の体制をとっている。
  - ・非常勤パート看護職（相談名）の雇用
  - ・地域の拠点病院等への事業委託
  - ・市町村事業受託法人格員の医師会出向
  - ・医師会事務局長のコーディネーター兼務（人件費計上無し）

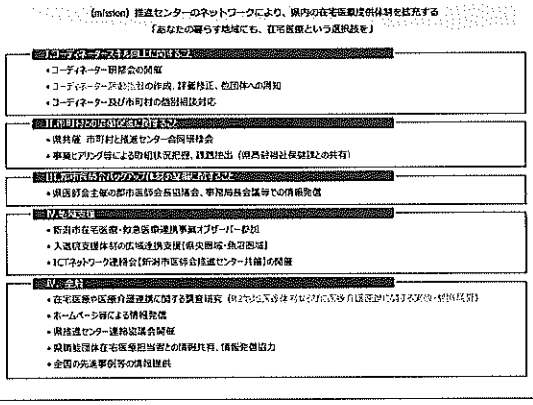


配置職種の現状（n＝41）



センター長の医師会役職（n=17）

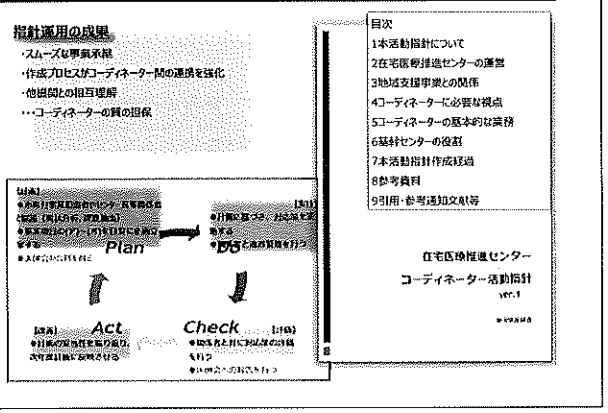
基幹センターの取組内容



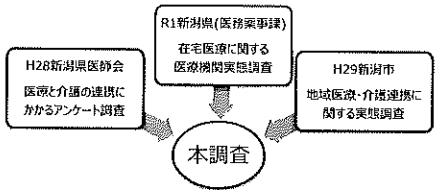
在宅医療推進センターコーディネーター活動指針ver.1

指針運用の成果

- ・スムーズな事業承継
- ・作成プロセスがコーディネーター間の連携を強化
- ・他機関との相互理解
- ・・・コーディネーターの質の担保



地域医療提供体制ならびに医療・介護連携に関する実態・意識調査（R2）



県で一括して行い、結果は都市医師会単位で活用できるデータで提供

調査趣旨

（１）医療・介護関係機関の実施可能な機能の現状や在宅医療に対する意向、医療・介護連携に対する現状などを把握し、医療・介護のさらなる連携強化に寄与することを目指す。

（２）新潟県、新潟市および新潟県医師会、新潟県内各郡市医師会の在宅医療推進、在宅医療・介護連携推進に係る取組みの経年指標として活用する。

R3地域医療提供体制ならびに医療・介護連携に関する実態・意識調査研究事業

本研究は、令和3年度に新潟県福祉保健部地域医療政策課から新潟県医師会が委託を受け、新潟大学と共同研究を行うもの。

1．研究責任者及び分担者
（新潟大学研究責任者）　新潟大学大学院保健学研究科　　教授　　塚井さゆり
（多施設共同研究責任者）新潟県医師会副会長/在宅医療推進センター長　　堀田　芳久
研究分担者
新潟大学大学院保健学研究科、新潟県医師会在宅医療推進センター、新潟県福祉保健部地域医療政策課、新潟市保健衛生部地域医療推進課、新潟市医師会地域医療推進室

2．研究目的
医療・介護関係機関の実施可能な機能の現状や在宅医療に対する意向、医療・介護連携に対する現状などを把握し、医療・介護のさらなる連携強化に資する課題の検討を行う。

3．研究対象と研究デザイン
令和2年11月～令和3年1月に新潟県福祉保健部医療薬事課、新潟市保健衛生部地域医療推進課、新潟県医師会在宅医療推進センターが行った「地域医療提供体制ならびに医療・介護連携に関する実態・意識調査」において回収した調査用紙2576件（病院27施設、医科診療所678施設、歯科診療所594施設、薬局655施設、訪問看護事業所115施設、居宅介護支援事業所457施設）の匿名化された電子データを利用した観察研究（因子探索研究）。

4．研究期間
令和3年6月21日～令和4年3月31日

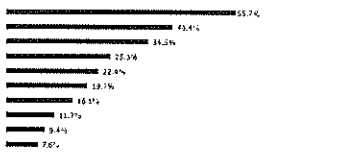
5．倫理審査
2021年6月21日新潟大学人を対象とする研究等倫理審査委員会にて承認（承認番号2021-0038）

令和4年秋頃、同様の調査実施予定

在宅医療の全般的課題

・最も多い回答は、在宅医療に関わる医師、歯科医師、薬局、訪問看護師、ケアマネージャー、介護職等の人員不足であった。次いで、在宅医療に関わる診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所等の基盤整備、地域住民への在宅医療に関する普及啓発であった。
・地域別、圏域別でも１位は、人員不足、次いで在宅療養事業所等の基盤整備、地域住民への普及啓発であった。歯科診療のみ、在宅医療提供者の資質や知識の向上が上位であった。

地域の在宅医療に関する課題（複数選択） n=2375



【圏域別課題】

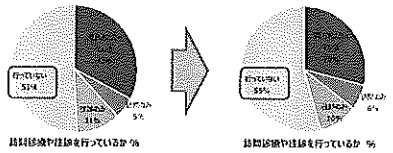
	1位	2位	3位
下越圏域	人員不足	在宅医療事業所不足	住民普及啓発
新潟圏域	人員不足	在宅医療事業所不足	住民普及啓発
県央圏域	人員不足	在宅医療事業所不足	住民普及啓発
中越圏域	人員不足	在宅医療事業所不足	住民普及啓発
魚沼圏域	人員不足	在宅医療事業所不足	住民普及啓発
上越圏域	人員不足	在宅医療事業所不足	住民普及啓発
佐渡圏域	人員不足	住民普及啓発	在宅医療事業所不足

【職種別課題】

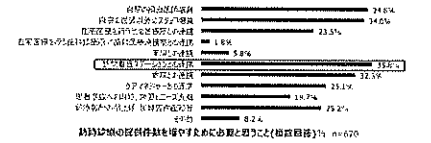
	1位	2位	3位
診療所	人員不足	在宅医療事業所不足	住民普及啓発
訪問看護	人員不足	住民普及啓発	在宅医療事業所不足
病院	人員不足	住民普及啓発	在宅医療事業所不足
歯科診療所	人員不足	在宅医療事業所不足	在宅医療者の資質の向上
薬局	人員不足	住民普及啓発	在宅医療事業所不足
居宅介護支援人員不足		住民普及啓発	在宅医療事業所不足

【日常療養支援：診療所】訪問診療/往診実施状況と今後の意向

・現在、訪問診療/往診を両方行っている３３%、訪問のみ５%、往診のみ１１%、行っていない５１%であった。
・５年後は、「行っていない」割合が４%上昇する。
・訪問診療/往診の提供件数を増やすために必要なことは、訪問看護ステーションとの連携、医師の増員である。



訪問診療や往診を行っているか %
現在 n=675　　5年後 n=673



訪問診療の提供件数を増やすために必要と思うこと(複数回答)% n=670

【日常療養支援：診療所】訪問診療/往診を行っている診療所の人員

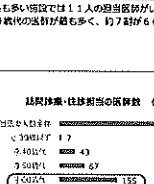
・訪問診療や往診を担当している医師の１施設当たりの平均人数は1.14、最も多い施設では１１人の担当医師がいると回答した。
・新潟県全体における年代別の訪問診療や往診を担当している医師は、６０歳代の医師が最も多く、約７割が６０歳以上、医師の高齢化が顕著である。
・患者の支人数の中央値は患者宅５人、患者宅以外９人であった。
・訪問看護や件数の中央値は患者宅１７件、患者宅以外21.5件であった。

訪問診療や往診を担当している医師の人数

	回答数	人数合計	1施設当たりの人数 最小値	最大値	1施設あたりの平均 平均値	標準偏差
担当医師人数全体	329	375	1	11	1.14	0.67
～39歳以下	5	7	1	2	1.40	0.55
40～49歳代	40	43	1	2	1.08	0.27
50～59歳代	64	67	1	2	1.05	0.21
60～69歳代	151	155	1	2	1.03	0.16
70～79歳代	72	74	1	2	1.03	0.17
80歳以上	6	6	1	1	1.00	0.00

※0人は回答した施設数

訪問診療・往診を担当している医師の人数（人）

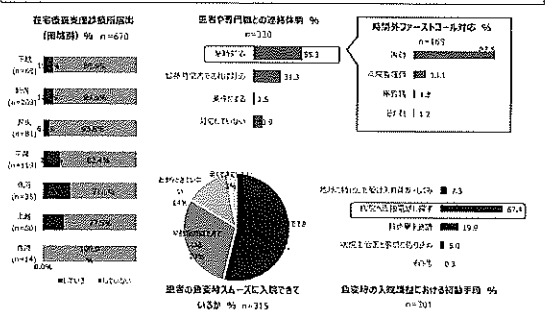


訪問診療・往診を行っている患者の実人数、延べ件数

	回答	平均値	中央値	最大値	標準偏差	最小値	最大値	合計
【患者宅】実人数	295	14.66	5	1	25.191	1	250	4326
【患者宅】延べ件数	291	67.65	17	3	148.24	1	1050	19753
【患者宅以外】実人数	163	21.09	9	2	36.895	1	390	3437
【患者宅以外】延べ件数	162	158.44	21.5	2	751.55	1	9300	25667

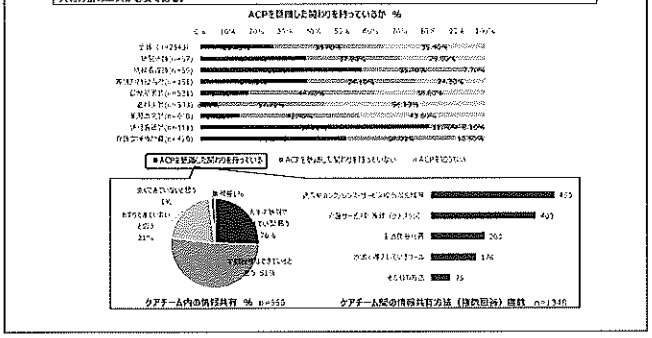
【急変時の対応】訪問診療/往診を行っている診療所の緊急時の体制

・在宅療養支援事業所の８割は出動合わ、訪問診療/往診を行っている回答より少ない。
・２４時間連携体制をとっている医師の半数程度が常時対応し多くが自分でファーストコールに対応している。
・患者急変時の入院調整における初動手段の約７割は、医師が「病院に直接電話して探す」であった。
・前述の集計にしている在宅医の自己努力により、現在の新潟県の地域医療が支えられている実態が浮かび上がる。
円滑な入退院支援のためのネットワークシステム構築が求められるのではないか。



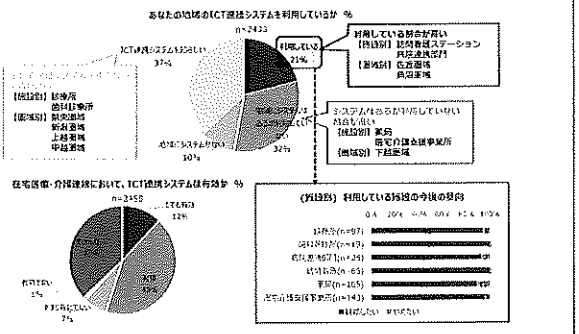
【ＡＣＰ】

・ACPを意識した関わりを持っていると回答したのは全体では23.8%、施種別にみると訪問看護師（60.2%）、病棟看護師（56.9%）、介護支援専門員（51.5%）が高い。ACPを知らないと回答した割合が高い職種は、歯科医師（55.1%）、薬剤師系職（43.8%）であった。
・ACPを意識した関わりを持っている人の約8割が平均程度はチーム内で情報共有できていると回答し、その方法は医師前カンファレンス等が最も多かった。先の指案よりカンファレンスの様な個別な場面の存在、コロナ禍で開催困難な現状に対し、情報共有方法の工夫が必要である。



【ＩＣＴ】利用度・有効度・今後の意向

・ＩＣＴの全体の利用割合は２１%であり、在宅医療・介護連携にとても有効/有効と回答した施設は全体の約５５%であった。
・現在利用していると回答した施設では、約８割が有効と回答、９割以上の施設が今後も利用を継続したいと回答した。ICTの利用経験の有無が有効度に影響する可能性が示唆された。



新潟市医師会在宅医療推進センターの現状

新潟市医師会在宅医療推進センター
センター長　横　田　樹　也

横田　樹也（よこた たつや）先生　ご略歴

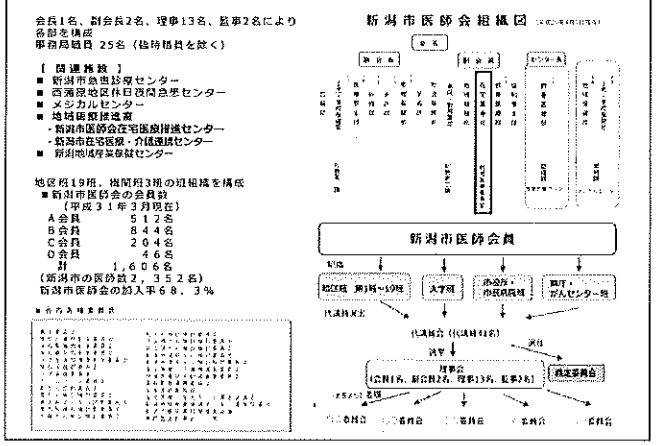
1987 年	順天堂大学医学部卒業
同年	新潟市民病院で内科研修
1989 年	新潟大学医学部第二内科へ入局（呼吸器内科）
1994 年～	国立療養所西新潟病院
	国立高田病院
	新潟市民病院
	燕労災病院
2006 年～	横田内科医院開業
2014 年～	新潟市医師会理事
2020 年～	新潟市医師会在宅医療推進センター センター長

令和4年度　関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会
令和4年8月27日(土)　ANAクラウンプラザホテル新潟

新潟市医師会在宅医療推進センターの現状

新潟市医師会理事/在宅医療部長
新潟市医師会在宅医療推進センター・センター長
横田　樹也

新潟市医師会の組織体制



新潟市医師会の在宅医療への取り組みの歴史

1994年（H6年）～　：「在宅医療検討協議会」設置
1999年（H11年）　：在宅医療講座開始（7/15 第133回）
2000年（H12年）　：介護保険法施行→介護保険元年
2005年（H17年）　：地域包括支援センター
2006年（H18年）　：在宅療養支援診療所
2012年（H24年）　：介護保険法改正→地域包括ケア元年
2012年（H24年）11月：第1回在宅診療医ネットワーク会議
＜NW登録医数：78名＞
12月:「在宅医療検討協議会・在宅ネット運営委員会合同会議」
2014年（H26年）～　：「在宅医療・在宅ネット運営協議会」

在宅医療推進事業の変遷

1.地域医療再生基金（平成26～27年度、県内5ヶ所）
新潟県在宅医療連携モデル事業
1）新潟市在宅医療連携拠点事業　（2つの連携拠点）
2）新潟市医師会IT連携事業　（IT連携運営委員会⇒医療介護情報共有システム：SH社のNet4U採用）
2.地域医療介護総合確保基金（"新基金"、平成27年度～）
1）地域医療構想の達成に向けた医療機関整備
2）居宅等における医療の提供に関する事業
①在宅医療推進センター整備事業（平成27年11月～）
②ICT連携システム整備事業：Net4U の新規導入募集
3）医療従事者の確保に関する事業
3.介護保険法による地域支援事業（平成27年度～）
新潟市在宅医療・介護連携推進事業

地域医療介護総合確保基金と地域支援事業の連携

県		市
医療法	連携	介護保険法
地域医療構想の策定（ビジョン）		介護保険事業計画
地域医療・介護総合確保基金「新潟県計画」		介護保険法の**地域支援事業**
⇩		⇩
在宅医療推進センター整備事業		**在宅医療・介護連携支援事業**
⇩		⇩
在宅医療推進センター		**在宅医療・介護連携センター**

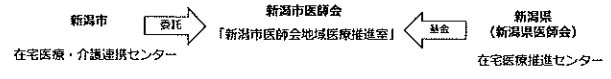
「一体的な取組みが必要」

在宅医療・介護連携センターと在宅医療推進センター

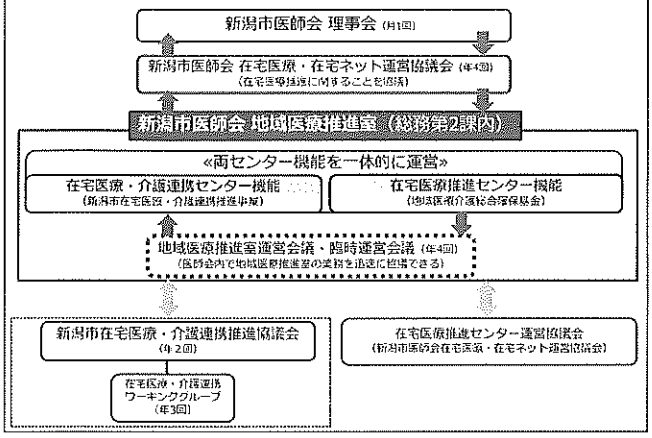
◎「在宅医療・介護連携センター」
→新潟市が新潟市医師会へ委託

◎「在宅医療推進センター」
→新潟市医師会が新（県）基金補助事業により、設置・運営

新潟市医師会地域医療推進室が<u>両センター機能を運営</u>



地域医療推進室の新潟市医師会内での位置づけ



新潟市在宅医療・介護連携センターについて

新潟市医師会 地域医療推進室

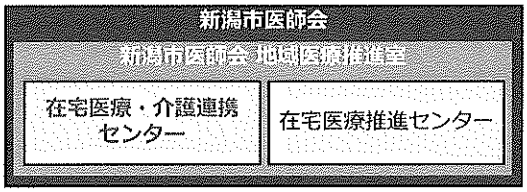
☞新潟市医師会内に設置し、両センター機能を運営

①「新潟市在宅医療・介護連携センター」

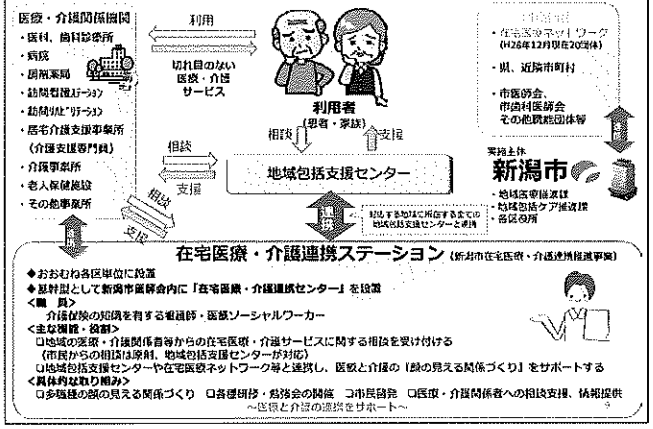
☞新潟市よりH27.11～委託（介護保険法の地域支援事業）

②「新潟市医師会在宅医療推進センター」

☞新潟県地域医療介護総合確保基金事業により設置・運営
（医療法を根拠）



新潟市在宅医療・介護連携センター/ステーション



新潟市在宅医療・介護連携センター/ステーションの体制

センター/ステーション名	医療機関名
新潟市在宅医療・介護連携センター	新潟市医師会
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　北	豊栄病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　東	新潟臨港病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　東第二	木戸病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　中央	斎藤内科クリニック
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　中央第二	みどり病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　江南	亀田第一病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　秋葉	新津医療センター病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　南	新潟白根総合病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　西	済生会新潟第二病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　西第二	信楽園病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション　西蒲	西蒲中央病院

	MSW	看護師	保健師	介護支援専門員	事務・その他
センター	2		1		1
ステーション	15	5	1	1	4
計	17	5	2	1	5

在宅医療・介護連携推進事業

□ 在宅医療・介護連携センター　▨ 在宅医療・介護連携ステーション　▩ 新潟市

					備考
PCA	現状分析・課題抽出、施作立案(計画)	(ア)地域の医療・介護の資源調査	1	医療介護資源調査、マップ整理	
			2	地域医療推進室運営協議会に関する業務・管理調査	
		(イ)在宅医療・介護連携の抽出	3	在宅医療・介護連携推進協議会 在宅医療・介護連携連携ワーキンググループ	
			4	ステーション業務の確認・調整 業務マネジメント支援業務	
			5	課題抽出と改善策検討・課題の共有のための	
			6	センター・ステーション会議	6月
			7	ステーションワーキンググループ(分野別)	3回
	対応策の評価の実施、改善の実施	(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護提供体制の構築の推進	8	医療・介護実態調査の評価実施	随時
			9	地域包括支援センターとの連携・支援	
			10	地域ケア会議などを活用した課題の抽出・問題提供	
D	対応の実施	(ア)在宅医療・介護連携に関する相談支援	11	医療と介護の研究実施	
			12	新規介護支援などの研修プログラム	3、6～8回
		(イ)地域住民への普及啓発	13	高齢者のための医療・介護セミナー	4回
			14	在宅療養・看取りに関する講演等資料等の作成・配布	
			15	在宅医療・介護連携ホームページ作成	
		(ウ)医療・介護関係者の情報の共有支援、知識の習得等のための研修などの実施に応じた医療・介護関係者の支援	16	地域医療連携推進事業	×10
			17	地域医療連携推進事業 地域診断等	年1回
			18	Concernヒーリング	1回
			19	医療系専門研修会(新潟医師会限定)	1回
			20	病院連携室職員研修	1回
			21	新潟市医師会と区医師会の連携ハンドブックの作成・普及	
			22	「にいがた在宅医療連携シート」のモデル運用、事業検証実施研修会	
			23	在宅医療ネットワーク情報交換会	4回
			24	ご自由連携等研修	年1～2回

新潟市医師会在宅医療推進センターについて

新潟市医師会 地域医療推進室

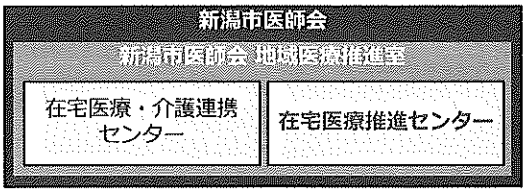
☞新潟市医師会内に設置し、両センター機能を運営

①「新潟市在宅医療・介護連携センター」

☞新潟市よりH27.11～委託（介護保険法の地域支援事業）

②「新潟市医師会在宅医療推進センター」

☞新潟県地域医療介護総合確保基金事業により設置・運営
（医療法を根拠）



新潟市医師会在宅医療推進センターの事業一覧

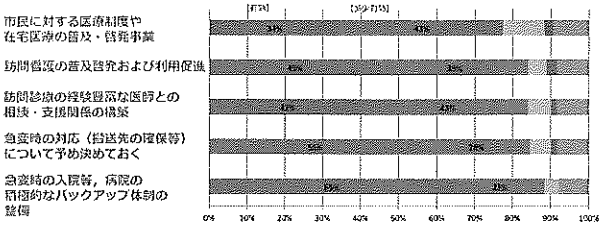
項目	取り組み	開催実施数
1.在宅医療提供体制のコーディネート事業	①在宅診療医ネットワーク等（医師間の連携）	
	②新潟地域病院連携会議	年4回
	※地域支援事業（ウ）との連携（③地域医療連携強化事業：年8回） ※関係職種からの相談事業は地域支援事業（オ）で実施	
2.運営会議等の開催	在宅医療・在宅ネット運営協議会	年4回
	地域医療推進室運営会議	年4回以上
3.在宅医療に対する普及啓発活動	※地域住民に向けた講演会は地域支援事業（キ）で実施	
4.在宅医療関係者に対する人材育成事業	在宅医療講座	年5回
	※看護職向（訪問看護・施設職員）合同研修会は（ウ）で実施 ※医療・介護関係者の研修会は（カ）で実施	
5.ICTによる医療介護情報共有の検討	SWANネット運営部会	年4回
	SWANネット情報交換会	年1回
	SWANネットセキュリティ研修会	年1回
	SWANネット講習会	不定期

「地域医療・介護連携に関する実態調査」（アンケート）から

新潟市医療に関する意識調査（H29.9月）（医師会員393人）
地域医療・介護連携に関する実態調査（H29.10月）（医科診療所医師183件）

在宅医療の推進に有効な取組み

医師が考える在宅医療の推進に有効な取組みは、「病院のバックアップ体制」が最も多く、「急変時の搬送先があらかじめ決まっていること」のほか「訪問看護の普及啓発および利用促進」という意見が多く、在宅医療の主体を担う医師の支援体制と負担軽減策を講じる必要性がある。



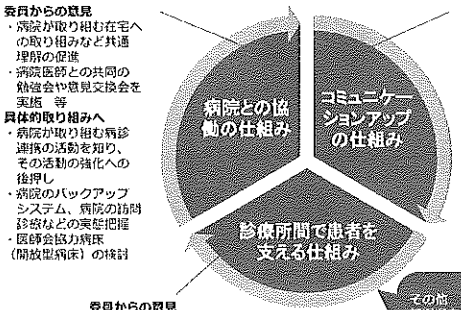
医師同士の連携強化に向けて①

○医師相互の連携強化を目指した「在宅診療医ネットワーク」の継続方法について
○訪問診療実施の診療所医師の高齢化
○今後の地域医療において、在宅診療医の担い手に危機感
医師会として、いかに地域医療に医師に参加してもらうか検討する。

【ヒアリング実施状況】
対　象：新潟市内の在宅医療に現在携わっている医師など（計14名）
実施日：平成29年8月 7日（3名）、11月1日（4名）、12月7日（2名）、
平成30年1月16日（2名）、2月27日（3名）
＊全ての回に新潟市地域医療推進課が参加
＊進行は医師会理事、地域医療推進室

在宅医療・在宅ネット運営協議会での議論
新潟市内の在宅医療に現在携わっている医師などで構成された協議会
2020年6月8日、9月7日協議会でを議論を深める

医師同士の連携強化に向けて②



委員からの意見
・病院が取り組む在宅への取り組みなど共通理解の促進
・病院医師との共同の勉強会や意見交換会を実施　等
具体的取り組みへ
・病院が取り組む病診連携の活動を知り、その活動の強化への後押し
・病院のバックアップシステム、病院の訪問診療などの実態把握
・医師会協力病床（開放型病床）の検討

委員からの意見
・SWANネット、Google グループなどを活用
・広く医師会員へ募集を募り、診療にまつわる自由な意見交換の場とする　等
具体的取り組みへ
・メーリングリストを開設し、在宅を取り巻く実際の診療場面での悩みなど相談
・メーリングリストでの話題を元にZoom等利用した研修会企画する。

委員からの意見
・訪問薬剤師の活用
・西蒲区の「留守番ネット」取り組みからの学びを共有 等
具体的取り組みへ>
・新潟市内での先進的取り組みの課題を共有し、市内他地域への展開

その他
新潟県在宅医療推進センターから県内事例を紹介してもらうと同時に、新潟市の取り組みを県内へ発信してもらい、全県の課題共有と解決へ向けた取り組みへ

医療連携系事業

				令和3～4年度のスケジュール
医師のつながり（診診連携を含む）	診診連携			
	1	医師のバックアップ体制整備	西蒲区・南区郡守番ネットへのサポート	
	医師同士の意見交換会・相談の場			
	2	在宅診療医NW	研修会の実施、協議会でテーマを決めて検討	・新型コロナ感染症の在宅診療について ・大規模経営の在宅専門診療所との連携
	3	集まりやすい場の提供	義務感のないゆるい集まりの場	「往診カバンの中身は？」など
地域医療連携強化事業（病診連携強化）	新潟市の医療連携を考える！			
	1	講演会(研修会)	他の地域医療の先進的地域から講師を招聘	講師打診、企画立案
	2	精神科と一般診療科の連携強化	精神科と一般診療科連携強化のための研修会の開催（こころの健康センターと連携）	①精神科医、②一般診療科医からの講演、③事例検討、計3回の研修会を開催
	認知症に対する医療連携の取り組み			
	3	認知症疾患対応事業	認知症委員会との連動した認知症の医療連携の体制づくり	認知症疾病検討会の開催 認知症医療連携フローの作成 認知症サポート医制度の体制強化
	地域の医療連携を考える！			
	4	各区での病診連携強化	各区それぞれの課題について協議	西区の在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業との連携で全区を展開
病院連携会議	1	経営管理部会	病院長、事務部長、看護部長など病院経営管理者により病院のありかたについて協議	
	2	連携実務者	地域医療連携室などの連携担当者の会 医療連携、地域連携等について協議	診療報酬改定の研修会
	3	地域連携パス運営部会	「地域連携診療計画加算」の算定の際の定期的な地域連携計画に係る情報交換など行う	

①医師同士の意見交換会・相談の場の例

1.在宅診療医ネットワーク
医師会が医師のつながる場としてネットワークを形成、研修会開催等
①研修会「オンライン診療にまつわる動向」開催
②在宅医療・在宅ネット運営協議会内でテーマを決めて議論
・新型コロナ感染症患者の在宅診療について
・大規模経営の在宅専門診療所との連携について

2.集まりやすい場の提供
「在宅あるある会」
義務感のない　ゆるい集まりの場でゆるいテーマでの開催
「訪問診療時の持参バックの中身は？」
「訪問診療を始める際に使用する書類は？」





②新潟市の医療連携を考える！

1.精神科と一般診療科の連携強化事業
精神科と一般診療科の診療所、病院が同じ場で意見交換できるような機会を設ける

令和3年度開催の研修会
テーマ「地域で精神疾患を持つ人を支えるために我々ができること」
①精神科の現状（一般診療科医が座長で精神科医が講演）12/1
②一般診療科の現状（精神科医が座長で一般診療科医が講演）1/21
③事例検討会（精神科診療に係る多職種が事例について意見交換）3/3

2.認知症疾患対応事業（認知症委員会の立ち上げ　令和3年7/13）
新潟市における認知症をとりまく環境を向上させることを目的に、
認知症に係る様々な課題を協議・検討し、情報の共有化を図る

令和3～4年度　認知症委員会での取り組み内容
①新潟市における認知症診療の実態調査
②かかりつけ医を対象とした認知症症例検討会の開催
③認知症医療連携フローの構築
④認知症サポート医制度の体制強化

③地域の医療連携を考える！

H30.4	**秋葉区における医療連携を考える！** 1.講義提供「①医療介護連携における新潟市と新潟市医師会の一体的な取り組み」「②救急医療を取り巻く最近の情勢について」 2.講演「在宅医療・連携に関わる診療報酬について」　3．意見交換
H30.4	**東区における医療連携を考える！** 1.講義提供「①医療介護連携における新潟市と新潟市医師会の一体的な取り組み」「②救急医療を取り巻く最近の情勢について」 2.講演「東区の医療連携について」3．意見交換（木戸・桑名・新潟逓信病院）
H30.12.27	**医療提供体制について市民の理解を深めるための意見交換会（第1回）**
H31.1.24	**中央区における医療連携を考える！** 1.講義提供「①医療介護連携における新潟市と新潟市医師会の一体的な取り組み」「②救急医療を取り巻く最近の情勢について」 2.講義3「訪問診療実施場面、救急搬送の取り組み、方向性～病院の立場から」「③救急連携に期待すること」方向性～診療所の立場から」　3.意見交換
H31.2.4	**南区・西蒲区における医療連携を考える！** 1.講義提供「①医療介護連携における新潟市と新潟市医師会の一体的な取り組み」「②救急医療を取り巻く最近の情勢について」 2.報告「「救急連携に期待すること」方向性～診療所の立場から」「③救急連携の取り組み、方向性～病院の立場から」「④精神科と一般診療科との連携について
H31.2.中旬（日時未定）	**医療提供体制について市民の理解を深めるための意見交換会（第2回）**
H31.3.23	**「新潟で心健やかに暮らす未来　そのために精神科と一般科が連携して地域に貢献できること」**1．パネルディスカッション
H31.3.28	**新潟市における医療連携を考える！** 1.意見集約「（仮）新潟市における医療連携に期待すること」 2.意見交換

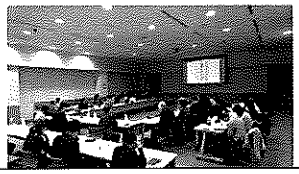
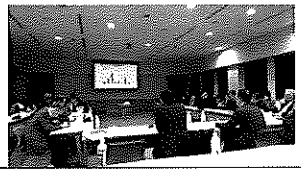
令和３～4年度は「西区における在宅医療・救急医療連携を考える！」（市のモデル事業）

④中央区の医療連携を考える！

各区の医療連携における課題、あるべき方向性を意見交換する。
企画は、内の特性を鑑み、連携ステーションの強力を得て企画、開催。
参加者は、医療機関が主体であるが、その他関係機関は企画内容によって異なる。

バックアップ体制について
- 今以上に診療所医師が在宅に目を向けてもらうこと、また在宅診療医の後方支援といった両面からも病院のバックアップ体制は重要。
- バックアップ体制をとる病院を支援する体制（病病連携）も重要である。
- 病院相互の役割分担推進、地域医療構想の観点からも重要。

地域住民の意識について
- 新潟市が行なった市民向け医療に関しての意識調査から救急・精神・在宅医療に対して何を望んでいるかを他区比較（話題提供）。
- 医療機関だけが、救急医療対策・医療連携をしていても限界がある。医療にアクセスする地域住民に医療提供体制を理解してもらう必要がある。

⑤新潟地域病院連携会議

新潟市医師会と新潟大学医歯学総合病院とが協働で開催することによって公的活動とし、新潟市内を中心とした病院が、地域医療連携で共通の方向性を見ることができる。病院共通の連携テーマを掲げ研修会を開催。

開催頻度：年3回程度
参加病院：新潟市内の病院、新潟市近郊の病院
部　　会：「経営管理部会」「連携実務者部会」

テーマの例：「地域連携パスの運用について」



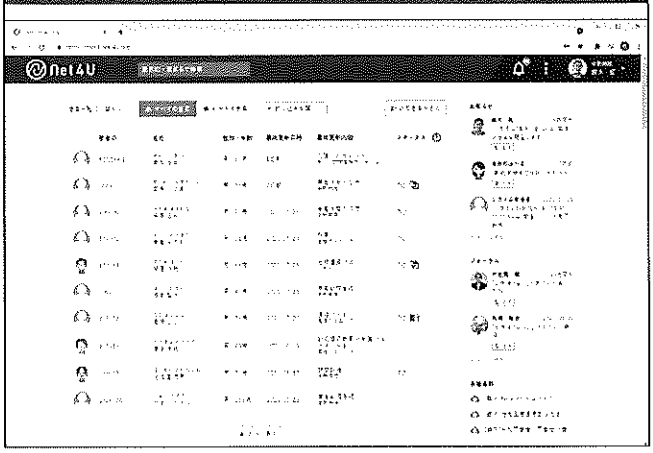
SWANネットとは

新潟市医師会ＩＴ連携事業
平成26年9月　在宅医療・介護連携情報共有システム「Net4U」（SH社）を採用
　　モデル事業として、新潟市内80施設に導入
ＩＣＴ連携システム整備事業（平成28年度）
新潟市医師会在宅医療・在宅ネット運営協議会で審議の結果、継続運用を決定
平成29年4月　補助金を活用し新規導入（計350施設）→「SWANネット」と名称変更

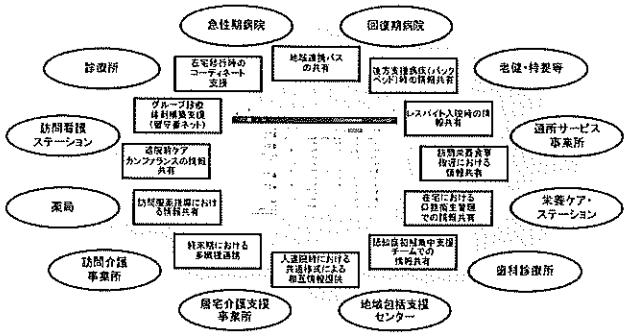
S：住み慣れた
W：我が家で
A：安心して暮らせる街
N：新潟


SWANネット


SWANネットの初期画面（ポータル画面）



SWANネットの活用イメージ



SWANネット推進のための取り組み

1.新潟市医師会SWANネット運営部会

○新潟市医師会在宅医療・在宅ネット運営協議会における
ICT活用の運営部会として、平成29年4月に設置
○部会は年間4回開催
○ＩＣＴの活用による医療介護の情報共有に係る事業を
適正かつ円滑に運営する

2.市民・関係者への情報提供ツール

○ホームページへの掲載
○SWANネットサポート倶楽部（SWANサポート・操作セミナー）など

3.SWANネットに関する研修会など

○セキュリティ研修会及び事例検討会
○SWANネット情報交換会
○Net4U新規導入説明会
○SWANネット講習会（初期コース）

SWANネットへの参加状況

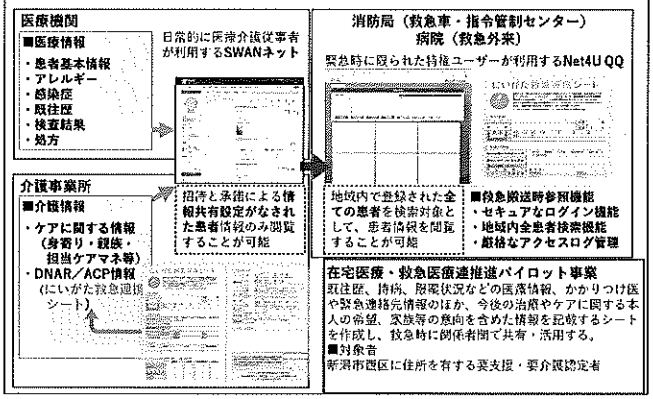
SWANネット参加事業所状況

令和４年１月３１日現在

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	合計
病院	2	3	8	1	2	2	5	1	24
医科診療所		9	9	6	3	6	11	7	51
歯科診療所			2			1	1		4
訪問看護ステーション	1	6	10	3	1	1	8	1	31
保険薬局	4	18	25	7	7	3	19	4	87
地域包括支援センター	2	2	3	2	3	2	4	2	20
居宅介護支援事業所	1	6	5	2	1	1	6	2	24
介護事業所	1	10	4	2	3	2	3		25
その他			2		1				3
合計	11	54	68	23	21	18	57	17	269

在宅医療・救急医療連携パイロット事業におけるSWANネットの活用

SWANネットに日々登録されている医療・介護の情報や、モデル事業において登録・蓄積していく**にいがた救急連携シート**の情報を、救急搬送時や災害発生時に、消防隊、指令管制センター、病院救急外来等の限られたユーザーが閲覧可能です。



在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業
既往歴、持病、服薬状況などの医療情報、かかりつけ医や緊急連絡先情報のほか、今後の治療やケアに関する本人の希望、家族等の意向を含めた情報を記載するシートを作成し、救急時に関係者間で共有・活用する。

■対象者
新潟市西区に住所を有する要支援・要介護認定者

まとめ

1. 新潟市医師会在宅医療推進センターの現状について報告した
2. 在宅医療・介護連携センターと在宅医療推進センターの事業を一体的に行うために、新潟市医師会地域医療推進室を開設した
3. 地域の実情にあった在宅医療連携体制を確立するために、アンケート調査やヒアリングを行なったのちに、在宅医療・在宅ネット運営協議会での議論を深めた
4. 医療連携系事業では、診診連携、病診連携、病病連携に分けて、講演会や研修会、意見交換会を幅広く開催している
5. SWANネットは、その参加施設において、活用を推進するために、様々な取り組みを行なっているところである

しばた地域医療介護連携センター

しばた地域医療介護連携センター
センター長　平　塚　雅　英

平塚　雅英（ひらつか まさひで）先生　ご略歴

昭和 40 年	神奈川県生まれ。
平成　3 年	新潟大学医学部卒業。新潟大学医学部胸部外科学教室入局。 県立新発田病院、新発田市国保紫雲寺診療所などを勤務。
平成 19 年	新発田市真野原（まのはら）（旧紫雲寺町）に 平塚ファミリークリニックを開業。 プライマリ・ケア、禁煙外来、在宅医療に取り組む。
平成 27 年	新発田警察署警察医。
令和　2 年	しばた地域医療介護連携センター、センター長。
令和　4 年 6 月～	新発田北蒲原医師会副会長。

しばた地域
医療介護連携センター

（一社）新発田北蒲原医師会　副会長
しばた地域医療介護連携センター　センター長
平塚ファミリークリニック　平塚雅英

（一社）新発田北蒲原医師会

しばた地域医療介護連携センター

センター長	医師	1
副センター長	看護師	1
コーディネーター	社会福祉士 1	事務職 2

＊在宅医療推進センター整備事業

（地域医療介護総合確保基金事業 / 県・県医師会）

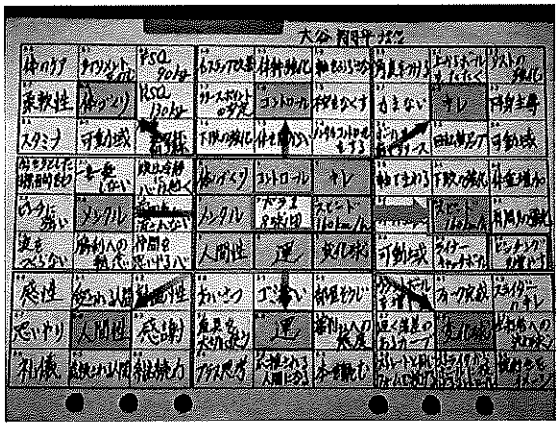
＊在宅医療・介護連携推進事業

（介護保険制度地域支援事業 / 新発田市・阿賀野市・胎内市・聖籠町）

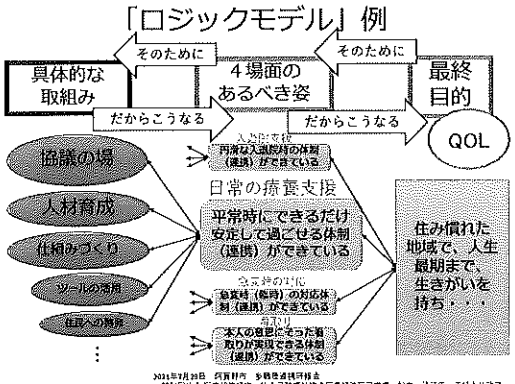
在宅医療・介護連携推進事業
「ロジックモデル」の活用

事業の実現に向けた道筋を
系統的に図式化した　**設計図**

4市町の医療・介護・行政関係者と作成し
目標と取り組みを共有



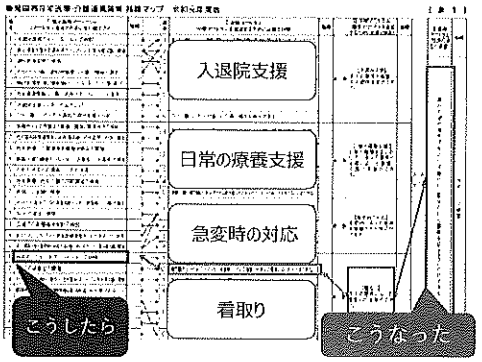
「ロジックモデル」例



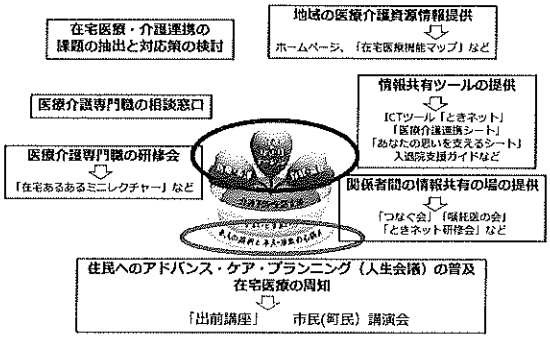


「在宅医療・介護連携施策指標マップ」

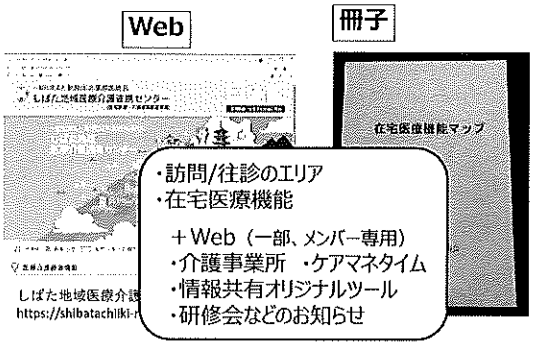
医師会報に掲載
（令和2年7月号）



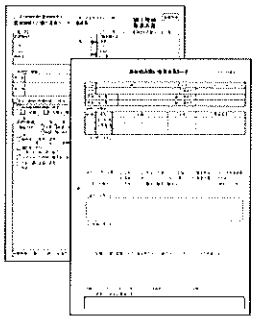
当センターの取り組み



医療介護資源情報の提供



情報共有オリジナルツール



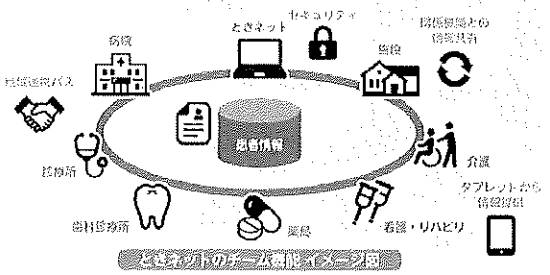
医師 - ケアマネ
連携シート

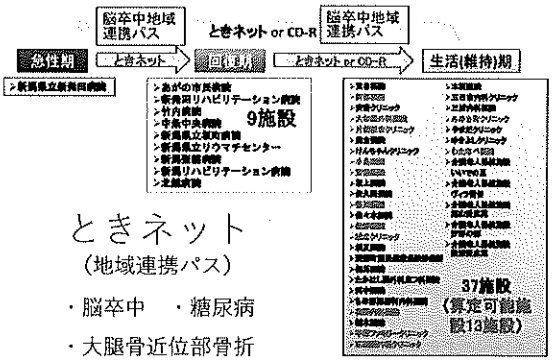
ACPの共有シート

入退院支援ガイド
（作成中）

ときネット
（地域連携ネットワーク）

ときネット
（地域医療連携ネットワーク）





ときネット
（地域連携パス）

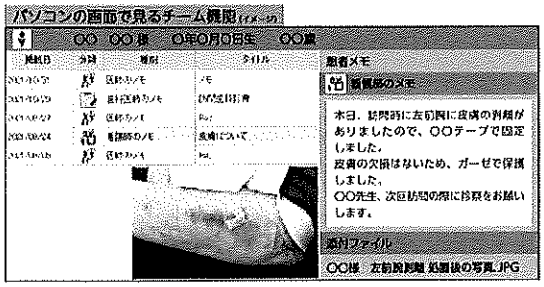
・脳卒中　・糖尿病

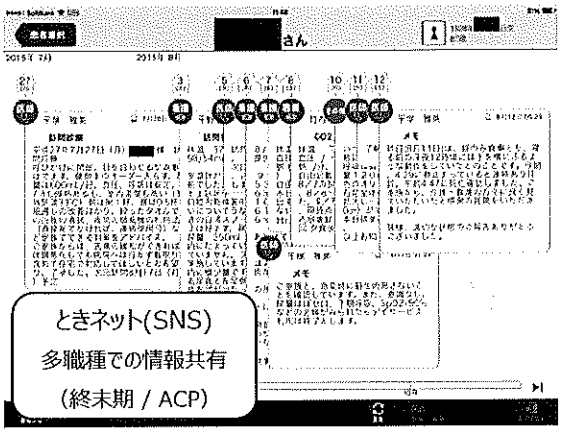
・大腿骨近位部骨折

ときネット

（医療介護連携）

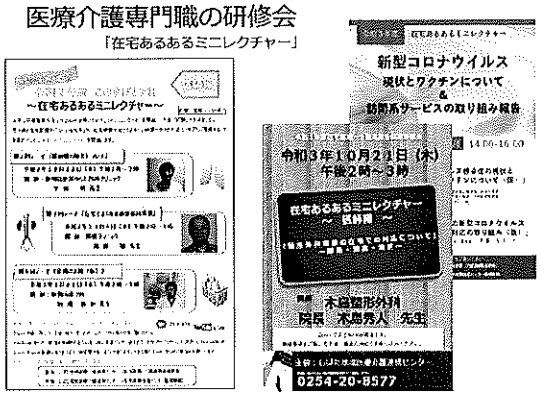
パソコンの画面で見るチーム掲示（イメージ）





医療介護専門職の研修会

「在宅あるあるミニレクチャー」



地域住民への普及啓発

「パンフレット作製」
「出前講座」「市民講演会」



関係者間の情報共有の場を提供

顔の見える関係つくりの場

「特養嘱託医の会」

医師―医師

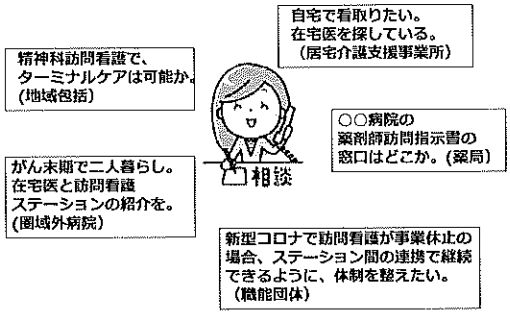
「つなぐ会」

薬剤師-訪問看護師

歯科医師―訪問看護師

看護師-看護師

医療介護連携相談窓口（抜粋）



コロナ禍における地域包括ケアシステム

埼玉県医師会
副会長　丸　木　雄　一

丸木　雄一（まるき ゆういち）先生　ご略歴

昭和 55 年　日本医科大学卒業。
昭和 59 年　埼玉医科大学脳神経内科学大学院卒業、医学博士
昭和 60 年　国保連福生病院内科主任
昭和 62 年　国立循環器病センター研究員
昭和 63 年　米国ボルチモアジョンズ・ホプキンス大学留学
平成　3 年　埼玉精神神経センター脳神経内科部長
平成　9 年　埼玉精神神経センターセンター長　現在に至る
平成 23 年　4 月社会福祉法人「シナプス」理事長　現在に至る
平成 28 年　埼玉県医師会常任理事
令和　4 年　埼玉県医師会副会長

令和4年度関東甲信越医師会連合会
医師会共同施設利用施設分科会

コロナ禍における地域包括ケアシステム

2022/8月27日(水)

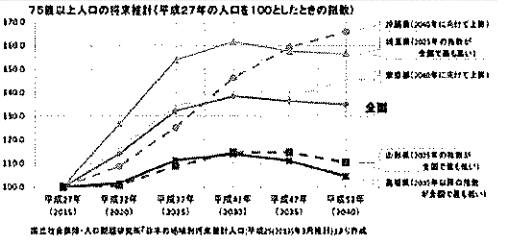
埼玉県医師会　副会長　丸木雄一

2015年から2025年までの各地域の高齢化

○75歳以上人口は、多くの都道府県で2025年頃までは急速に上昇するが、その後の上昇は緩やかで、2030年頃をピークに減少する。
※2030年、2035年、2040年でめた場合、2030年にピークを迎えるのが34道府県、2035年にピークを迎えるのが5県
※沖縄県、東京都、神奈川県、埼玉県では、2040年に向けてさらに上昇

○2015年から10年間の伸びの全国計は、1.32倍であるが、埼玉県、千葉県では、1.5倍を超える一方、山形県、秋田県では、1.1倍を下回るなど、地域間で大きな差がある。

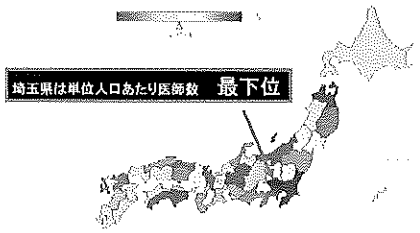
75歳以上人口の将来推計(平成27年の人口を100としたときの指数)



出典:社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」より作成

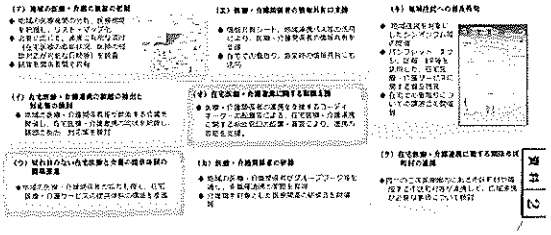
埼玉県の医師数

都道府県別の単位人口当たりの医師数:47位(142.6人/10万人)



医師:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(平成22年12月末)」(厚生労働省)　平成22(2010)年12月31日現在

在宅医療・介護連携推進事業(介護保険の地域支援事業、平成２７年度～)



地域医療介護総合確保基金の概要

○ 1団塊の世代」の方々が全て75歳以上となり、高齢化が一段と進行する2025年を見据え、国は、医療・介護サービスの提供体制改革を推進するための新たな財政支援制度を創設した。

○ 新たな財政支援制度の仕組みでは、国から交付される交付金で県に基金を造成し、県の事業に活用することになる。(基金の負担割合:国2/3、都道府県1/3)

地域医療介護総合確保基金の対象事業

1 病床の機能分化・連携のために必要な事業
地域医療構想(ビジョン)の達成に向けた医療機関の施設・設備の整備を推進するための事業 等

2 在宅医療・介護サービスの充実のために必要な事業
(1) 在宅医療を推進するための事業
(2) 介護サービスの拠点・設備の整備を推進するための事業 等

3 医療従事者等の確保・養成
(1) 医師確保のための事業
(2) 看護職員の確保のための事業
(3) 医療・介護従事者の勤務環境改善のための事業 等

埼玉県 内示額36.5億円
(全国904億円)

地域医療構想アクションが未着手
(2025年度以降に実施予定)

在宅医療推進のための仕組みづくり
→ H27-H29年度の3年間で1.4億円(医師会関係)

医療従事者等の確保・養成のための事業

上記のうち、知事が医療提供体制改革から地域医療介護総合確保基金に移行した事業がある
(H25当初予算ベースで約5.3億円相当)

在宅医療連携拠点の運営に係る留意点(ただき台)

(1)在宅医療連携拠点の整備

在宅医療連携拠点の人員配置など
1 医師等の専門職(ケアマネジャーの資格も有するなど)をいるに配置する
(他の業務との兼務は不可。ただし、業務に支障のない範囲で兼務を認めることの妨げではない。)
2 事務職員(事務担当)を配置する
3 業務を効率的に実施するため、郡市区医師会の協力の下、連携内の診療所を把握し、在宅医療情報を収集する

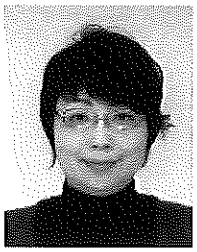
(2)往診医の登録・患者情報の共有

往診医の紹介、患者情報の共有
1 連携患者の往診医が見つからない場合は、郡市区医師会が紹介する
2 患者情報の共有に当たり、患者・家族の同意を得る

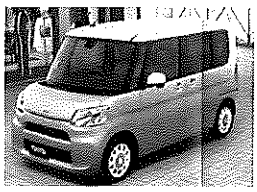
(3)急変時の入院先確保【在宅療養支援ベッドの確保】

在宅療養支援ベッドでの受入れについて
1 病院の施設等により空床を確保し、担当する郡市区からの要請に応じて一日最低1人以上の患者を受け入れるものとする
2 受入実績が実現しない場合の扱いなどは、郡市区医師会間で事前に申し合わせておく
3 往診医の登録、患者情報の共有と連動した仕組みとする(また、連携圏は、郡市区医師会単位とする)

2016年3月よりのコーディネーター



圭子号で走り回ります



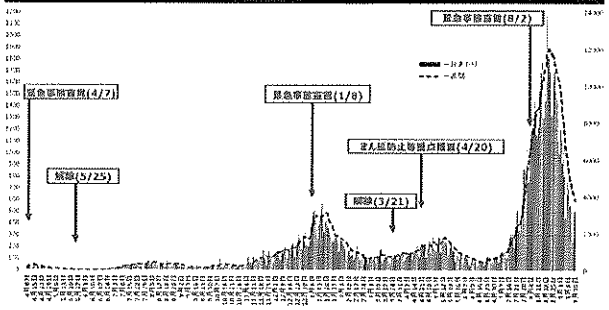
小田島圭子初代コーディネーター:さいたま赤十字病院現役師長



2020年第一波に対する埼玉県・埼玉県医師会の取り組み

2月3日ダイヤモンドプリンセス接岸　JMATの依頼を受ける
2月20日より新型コロナウィルス感染症対策会議を毎週開催
2月29日日本医師会テレビ会議を毎週金曜日に開催
4月2日新型コロナウィルス感染症の大幅増に備えた病床確保に関する緊急会議
4月7日新型コロナウィルス感染症の大幅増に備えた病床確保に関する緊急会議
4月16日埼玉県医師会新型コロナウィルス感染症医療体制検討会議を毎週開催
4月16日第1回埼玉県新型コロナウィルス感染症対策協議会
4月23日第2回埼玉県新型コロナウィルス感染症対策協議会

陽性者数の推移(日別)



埼玉県・埼玉県医師会の取り組み

埼玉県は4月2日と7日に「新型コロナ感染症患者の大幅増に備えた病床確保に関する緊急対策会議」この頃が埼玉県での医療需要のピークであったように思える。これらの会議で感染症専門病院の先生方から

- 「マンパワーも防護具もないため、補助金は返すから感染症指定病院を返納したい」
- 「我々の討ち死には覚悟しているが、近隣の病院が発熱患者すら診ないのは許せない」
- 県が保健所の負担軽減策を提示すると「保健所だけが抜け駆けをするのは許せない、我々だって大変な思いをしているんだ」（県立病院院長）
- 入院患者を診ながら、帰国者・接触者外来まで行うのは無理だ（国立病院院長）
- 防護具もなく、竹槍で戦っている是経だ

などと意見というより怒号が飛び交い、現場の混乱・疲弊を痛感し、医師会が何かお手伝いはできないかと心の底から感じた。
この頃、日本医師会は都道府県医師会にテレビ会議を通じて
・郡市医師会でPCR検査センターと相談センター開設を求めていた

埼玉県医師会の取り組み

4月30日、5月14日にすべての郡市医師会参加の下
「PCRセンターの開始に伴う各郡市医師会連絡会議」を開催
すべての郡市医師会にてPCRセンター並びに相談センター設置の内諾を得る

現在、30郡市医師会にてのべ1000日、13000件のPCR検査が行われている

埼玉県のPCR検査数は東京、大阪に次いで全国3位になりました



⇩

・地域包括ケア在宅支援コーディネーターが大活躍

・医師会の先生方が思いのほか？大変前向きに取り組んでいただいている。頼もしい限りです

・第2波への対応ととして

インフルエンザ流行に備えた新型コロナウィルス第3波への対応について（埼玉県）

重症者ベッド　100床
軽症・中等症者ベッド　1400床
疑い患者ベッド　45病院
宿泊施設　720ベッド

新型コロナウィルス第3波への かかりつけ医の対応

かかりつけ医には、この秋冬の発熱患者の診察を断わらないように、ゲートキーパーになるようにお願いする

検査体制整備の概要　新たな検査体制を構築する趣旨

○ インフルエンザの流行期には、例年、県内で100万人を超える発熱患者が発生している

○ 新型コロナウィルス感染症とインフルエンザを臨床的に鑑別することは困難であるため、国の方針に基づき10月を目途に新たな体制を整備したい

○ 発熱患者が、迷わず、身近な診療所等で診療・検査が受けられるよう、多くの診療所等に、両方の診療・検査を実施してもらい、県として「埼玉県指定　診療・検査医療機関」に指定し、公表したい

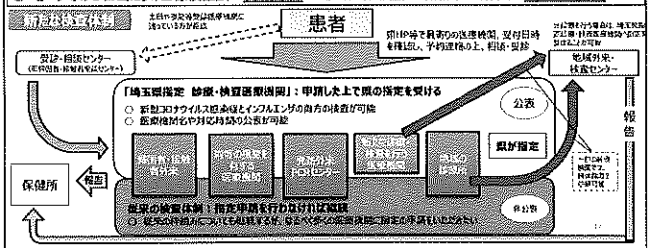
県としては、可能な限り多くの医療機関に御協力いただき診療と検査の担い手を増やしていく！！

16

検査体制整備の概要　新たな検査体制の制度概要

・インフルエンザ流行期には、例年、県内で100万人を超える発熱患者が発生しており、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを臨床的に鑑別することは困難であるため、これまで以上の体制強化が必要となる。
・そこで、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療・検査を行う「埼玉県指定　診療・検査医療機関」の指定を行う。

○ ピーク時の１日当たりの目標検査数：約3万件　○ 診療・検査医療機関の目標数：1,200機関



検査体制整備の概要　「埼玉県指定　診療・検査医療機関」の指定要件

指定要件

① 発熱患者の診療を行い、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の検査を行う医療機関
② 発熱患者の診察を行い、検体採取は地域外来・検査センターに依頼する医療機関
③ 発熱患者の診療を行い、検体採取を行う、発熱外来・検査センター
④ 発熱患者の診療を行い、検体採取を行う、休日・夜間診療所

①～④の医療機関のうち、下記の条件を満たすこと
○ 県HP等で医療機関名や対応時間の公表に同意すること
○ 受診者数や陽性者等の情報についてG-MISやHER-SYSに必要な情報の入力を行うこと
○ ①③④の医療機関は、公費負担適用のための委託契約（集合契約等）を締結すること

②の医療機関は、公費負担適用のための委託契約を締結しなくても指定対象となります。

指定によって得られる効果

○ 財政支援制度の支給対象となる
○ 検査に必要な個人防護具（PPE）の優先配布を受けることができる

診療・検査医療機関への県独自の支援策　「診療・検査医療機関」指定促進事業

現状と課題

・インフルエンザの流行期には、例年、県内で100万人を超える発熱患者が発生しており、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを臨床的に区別することは困難であるため、これまで以上の体制強化が必要。

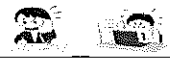
・そこで、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの**両方の診療・検査を行う「診療・検査医療機関」（公表が前提）を指定する。**

・しかし、指定に伴い

①発熱患者からの診療予約などに対応する体制の確保
②日々の受診者数などの情報をG－MIS等を通じての報告
③時間分割などの感染対策を講じることでの診療効率の低下

などの負担が発生する。

⇒**公表に対し慎重な医療機関が多い中、いち早く多くの医療機関を指定するために、インセンティブとして体制整備のための協力金を創設する。**



スキーム

○**補助基準額**

・１医療機関当たり：50万円（定額）
（単医療機１人分の人件費相当）

・目標医療機関数：1,200機関

○**補助対象**

・「診療・検査医療機関」の指定を受けた医療機関
（**指定を受けるためには、公表が前提**）

・業務を行うにあたり、相談体制等強化のための経費に充当

・10月15日～11月14日までの早期に申請を行った医療機関を対象とする

資料５

インフルエンザ流行時の新型コロナウイルス感染症診療のガイドライン（第4版）

埼玉県
埼玉県医師会

ガイドライン作成の目的

季節性インフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行した際の医療崩壊を防ぐためには、すべての身近な診療所等が、発熱患者の診療・相談を行う必要がある
診療所等の医療従事者と患者がともに、安全に診療・検査を行うことができるようガイドラインを作成

市民への周知

・受診の際は、必ずあらかじめ電話などで予約をする（初診からオンライン診療が可能）
・来院の際は、なるべく公共交通機関を利用しない
・**風邪症状があっても必ずしも早期に受診しない**
・**具合の悪い時は、登校・出社を控える（感染を広げないため）**

予防の基本

・3密の回避　・マスク装着　・手洗いの励行
・高齢者には、インフルエンザワクチン接種、肺炎球菌ワクチン接種を積極的に勧奨

宿泊療養者・自宅療養者への医療提供体制の強化

- 自宅療養者のうち軽症者等の健康観察業務を、診療・検査医療機関、近隣の医療機関に、それ以外の自宅療養者の健康観察業務は、民間に委託
- 宿泊療養者・自宅療養者に対する健康観察の結果、必要に応じて、診療・検査医療機関等が電話診療等を行い、療養期間中の安全性を向上させる

健康観察
- 軽症またはリスク要因のある患者に対する1日2回の健康観察
- 必要に応じた電話診療等や薬の処方



【協力医療機関　557医療機関(9月16日時点)】

重症悪化
- 無症状かつリスク要因のない自宅療養者に対する1日2回の健康観察
- 体調不良者等の相談受付(24時間対応)
- 症状が悪化した患者を診療・検査医療機関に取り次ぎ

第30回中央区地域包括ケア研修会

新型コロナウィルスワクチン接種の5W1H
いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように打つの？



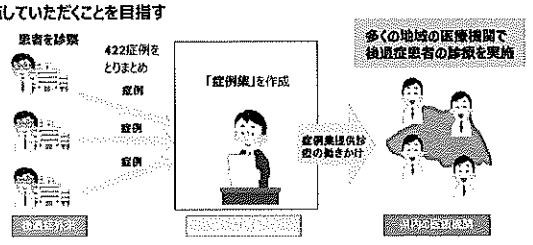
さいたま市与野医師会理事
埼玉県医師会常任理事
社会福祉法人「シナプス」理事長
丸木雄一

令和３年１０月開始新型コロナ後遺症（罹患後症状）外来の事業スキーム②

（2）７医療機関９診療科の後遺症外来から症例を収集し、診療の指針となる症例集を作成

○ 後遺症外来を行う医療機関から症例を集め、**「症例集」**として取りまとめた上で、**診療科ごとに「診療の指針」を作成**

○ 今後は、診療の指針**となる症例集を参考に、多くの地域の医療機関で後遺症外来を実施していただくことを目指す**

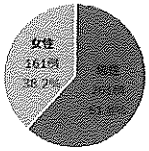


5

症例集の基礎となる症例データについて①

10月1日から概ね1月末までに報告いただいた 422 症例の状況は以下のとおり

1 男女比



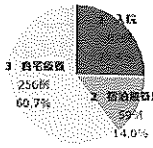
報告いただいた症例においては、男性患者の割合が高い。

2 基礎疾患の有無



基礎疾患の有無に関わらず、後遺症を疑う症状が発現。

3 新型コロナ罹患時の対応



入院、宿泊療養施設入所に至らない自宅療養の方に多く発症
⇒コロナ症状の重さとは相関傾

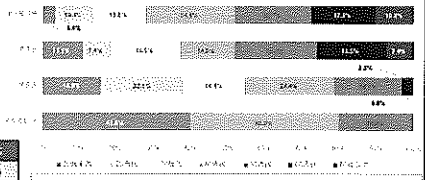
6

症例集の基礎となる症例データについて②

4 発症時期

第３波以前(～R3.3)	29
第４波(R3.4～R3.6)	29
第５波(R3.7～R3.9)	356
第５波以降(R3.10～)	5

（新型コロナの発症時期別年代構成）



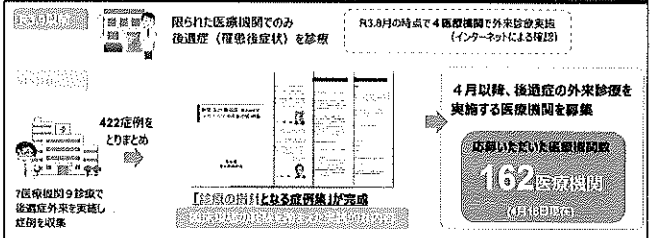
5 年代別

患者の年代	患者数	構成比
20歳未満	62	(14.8%)
20歳代	83	(20.0%)
30歳代	68	(16.3%)
40歳代	100	(24.0%)
50歳代	77	(18.5%)
60歳代	19	(4.6%)
70歳以上	7	(1.7%)

- いわゆる第5波(R3.7～R3.9)において新型コロナを発症した患者が最も多い。
- 年代別では40歳代が最も多いが、20歳未満から50歳代まで大きな偏りなく分布している。
- 第5波において新型コロナを発症した患者は、若い世代の割合が高く、30歳代以下の割合が約54%と全体の半数を超えている。

7

令和４年４月以降の後遺症（罹患後症状）外来



- 限られた医療機関だけでなく、県内の多くの医療機関で診療が可能に
- ○後遺症の診療を行う医療機関は、県及び県医師会のホームページで公開中
- ○今後も後遺症の診療を行う医療機関の募集を継続
- ○症例集の内容は、新たな知見を踏まえて更新していく

10

ポストコロナにおける地域包括ケア

Narrative based Medicine と Advance Care Planning の重要性

総　括

日本医師会常任理事
今　村　英　仁

特別講演

新潟大学における日本酒学（Sakeology）の展開

新潟大学日本酒学センター長
鈴木 一史

新潟といえば米、雪、そして日本酒を連想するのではないでしょうか。新潟県の日本酒の酒蔵数は89と全国一位であり、また、新潟県には日本酒の研究に特化した新潟県醸造試験場があり、新潟淡麗の日本酒を支えています。この新潟の地で、新潟大学は「日本酒学（Sakeology）」という新しい学問の確立に向けて動き始めました。日本酒に関連した学問分野というと醸造学・発酵学を思い浮かべることと思います。しかし、「日本酒学」は広範な学問を網羅する「対象限定・領域横断型」であり、日本文化や伝統に根差した日本酒に対象を絞った世界初の学問領域です。取り扱う対象は、原料（水・酒造好適米等）や微生物から醸造・発酵の知識と技術、そして日本酒が消費者の手に届くまでの流通や販売、マーケティングに関する領域、さらには醸造に関連する気候や風土、地理的表示保護制度（GI）などの地域性に関する領域、歴史や酒税、醸造機器、日本酒のたしなみ方や健康との関わりなど、日本酒に関連する多岐にわたる領域となります。「日本酒学」の取り組みのきっかけは、2016年の経済学部と農学部の教員によるものでした。そして、2017年の新潟県、新潟県酒造組合、新潟大学の3者連携協定締結によって本格的に始まりました。2018年にはいわゆる教養科目として「日本酒学」の講義を開講し、現在では新潟大学の学生に広く認識された人気の講義の一つとなっています。同年、学内の有志の研究者グループとして「日本酒学センター」がスタートし、2020年には学長直下の全学共同教育研究組織「日本酒学センター」となり、新たな段階へと進みました。これまでに学生向け教養科目「日本酒学」および市民向け公開講座の開講、日本酒学シンポジウムの開催、ワインの研究で有名なフランス・ボルドー大学や米国・カリフォルニア大学デービス校との大学間交流協定の締結などの多くの活動を行ってきました。さらには、本年4月に大学院日本酒学コースが設置となり、日本酒に関する幅広い多様な異なる領域を俯瞰し、さらに自らの専門領域も深め、社会問題の解決や新たな価値を創出するイノベーションを起こしうる人材の養成を目指して大学院教育を展開しています。本公演では、「日本酒学」とはどのような学問なのか、取り組みの経緯、新潟大学日本酒学センターの活動内容、今後の展開・将来展望など、新潟大学発の「日本酒学」について紹介いたします。

鈴木　一史（すずき かずし）先生　ご略歴

1990 年　新潟大学大学院 農学研究科 修士課程修了

1990 年　明治製菓株式会社 薬品開発企画部

1996 年　新潟大学大学院 自然科学研究科 博士後期課程入学

1999 年　新潟大学大学院 自然科学研究科 博士後期課程修了 博士(農学)

1999 年　日本学術振興会特別研究員

2000 年　Univ. North Texas HSC at Fort Worth, Postdoc.

2002 年　Emory University School of Medicine, Postdoc., Research Associate

2006 年　新潟大学農学部 准教授

2018 年　新潟大学農学部 教授(現在に至る)

2020 年　新潟大学日本酒学センター センター長(現在に至る)

専門：応用微生物学、分子微生物学

令和4年度 関東甲信越医師会連合会
医師会共同利用施設分科会
2022/8/27

新潟大學
日本酒学センター
Sakeology Center, Niigata University

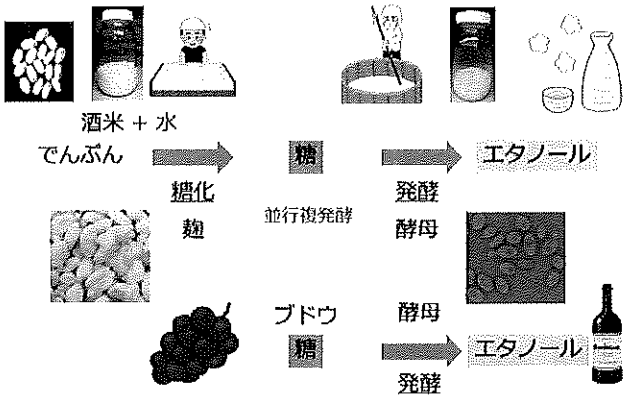
新潟大学における
日本酒学（Sakeology）の展開

新潟大学 日本酒学センター長／農学部 教授

鈴木　一史

1

日本酒とワインの造りの違い



2

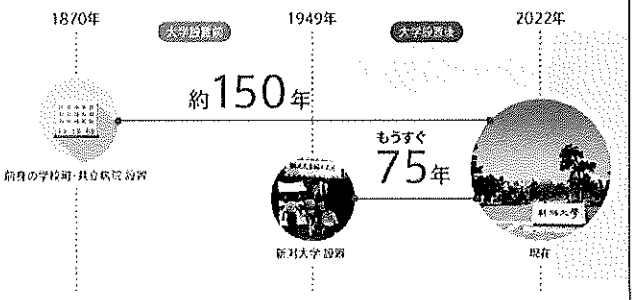
新潟県の日本酒

- 酒蔵数日本一：８９蔵
- 出荷量：全国３位 （年間4万kℓ, 2018）（１位兵庫、２位京都）
- 成人一人当たりの年間消費量：全国１位（11.3ℓ, 2017）
- 精米歩合が低く、特定名称酒の割合が高い→吟醸酒は全国一のシェア（19.6%）
- 淡麗辛口 → 淡麗（新潟淡麗）
- 水に恵まれている：名水百選６ヶ所、県の名水５８ヶ所
- 軟水（地域によって異なる）→ 淡麗な酒質
- 酒造好適米：「五百万石」、「越淡麗」
- 夏場の日照時間が長く、冬場は低温で温度変化が少ない → 夏の稲作、冬の低温・長期発酵の新潟の清酒造り
- 越後杜氏がこの土地で長年培った経験と技
- 県立の清酒専門研究機関としては唯一となる新潟県醸造試験場
- 新潟県に「地場産業・日本酒振興室」

3

新潟大学

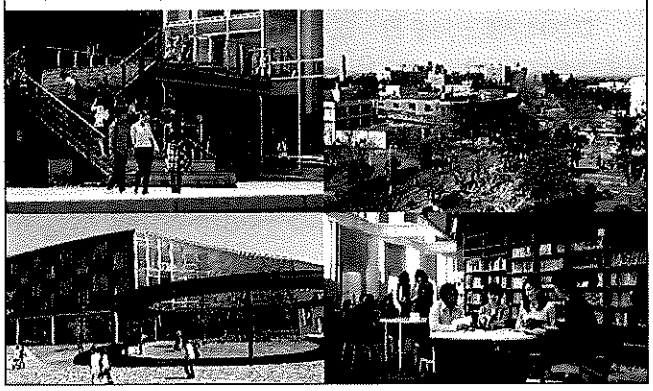
長い歴史と伝統が息づく「新大」



4

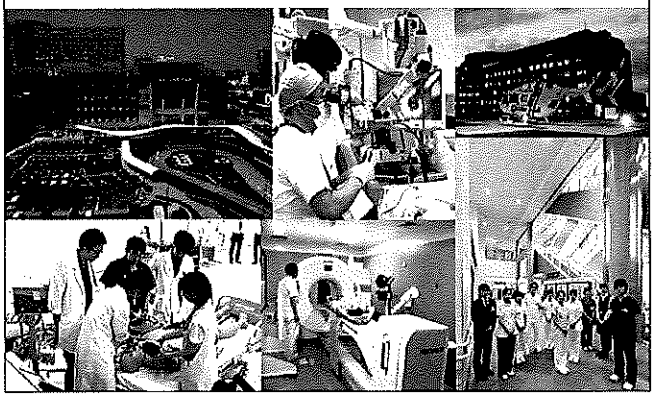
五十嵐キャンパス

本部 / 人文学部 / 教育学部 / 法学部 / 経済学部 / 理学部 / 工学部 / 農学部 / 創生学部 / 教育実践学研究科 / 現代社会文化研究科 / 自然科学研究科 / 災害・復興科学研究所



旭町キャンパス

医学部 / 歯学部 / 医歯学総合研究科 / 保健学研究科 / 医歯学総合病院 / 脳研究所



新潟大学　１０学部

人文学部　教育学部　法学部　経済科学部　理学部

医学部　歯学部　工学部　農学部　創生学部

学生数・教員数　2021年5月1日現在

学部・大学院・別科学生数　12,223 人

教職員数（役員含む）　3,267 人　特定有期雇用の特任教員等及び附属病院勤務者

日本酒学（Sakeology）

「日本酒学」とは、広範な学問を網羅する「対象限定・領域横断型」で、日本文化や伝統に根差した日本酒に対象を絞った世界初の学問領域です。

取り扱う対象は、原料（水・酒造好適米等）や微生物から醸造・発酵の知識と技術、そして日本酒が消費者の手に届くまでの流通や販売、マーケティングに関する領域、さらには醸造に関連する気候や風土、地理的表示保護制度（GI）などの地域性に関する領域、歴史や酒税、醸造機器、日本酒のたしなみ方や健康との関わりなど、日本酒に関連する多岐にわたる領域となります。

8

真の強さを学ぶ。新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

新潟大学発 日本酒学の取組み 経緯

新潟大學 日本酒学センター Sakeology Center, Niigata University

きっかけは　2016年　春

□ 農学部の計画
- 新潟県醸造試験場との連携強化／取り組みの可視化

□ 経済学部からの提案
- 日本酒学講義の立ち上げ／文理融合型の研究　など

□２０１６年秋　新潟県酒造組合へ
□２０１６年末　トップ会談
□２０１７年５月９日　連携協定締結

10

新潟県、新潟県酒造組合、新潟大学 連携協定締結式　2017年5月９日



日本酒に係る
教育、研究、
情報発信、国際交流
に関すること。

□全学向け講義　「日本酒学」の開講
□新潟大学日本酒学センターの設立
日本酒学：「学部の枠を超えた」取り組み

11

□2016年秋　新潟県酒造組合へ
□2016年末　トップ会談
□2017年５月９日　三者連携協定締結

□2018年２月　～先行事例を学びに～
山梨大学 ワイン科学研究センター
フランス・ボルドー大学 ブドウ・ワイン科学研究所

□2018年３月９日
新潟大学日本酒学センター設立記者会見

□2018年４月
新潟大学日本酒学センター設置
日本酒学講義開講

12

ボルドー大学・ISVV（ブドウ・ワイン科学研究所）3者による訪問

- ワインに関する研究・教育・技術移転の中心的機関
- 2009年に新設



- 先行事例「ワイン学」を学びに

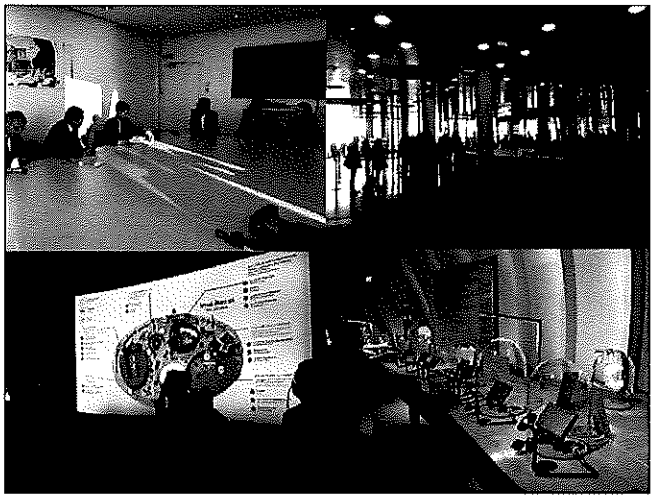
13



ワイン博物館（La Cite Du Vin）

- ワイン文化の普及センター
- コンセプト：一般人を対象としたワインの教育と観光事業
- 産（CIVB）官（ボルドー市）学（ISVV）の連携
- 発端：Sylvie Cazes（シャトー経営者・ボルドー市議会議員）、Alain Juppe（ボルドー市長）、Philippe Massol（コンサルタント）＋etc
- 設立：政府・地方自治体・文化団体等、多様な団体からの出資（約8100万ユーロ）により2016年設立（建物）





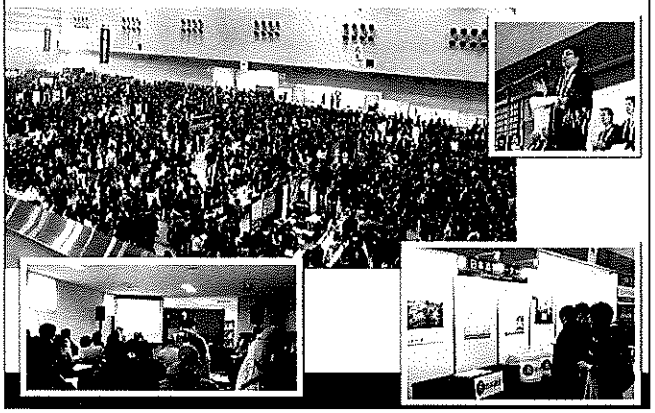
- 2018年3月9日
  - 新潟大学日本酒学センター設立記者会見



17

酒の陣での日本酒学セミナーとブース

2018年3月10,11日



新潟大学研究推進機構附置

日本酒学センター　開所式

2018年4月6日



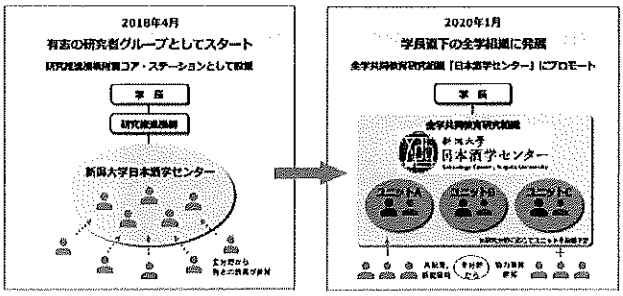
4つの取り組み

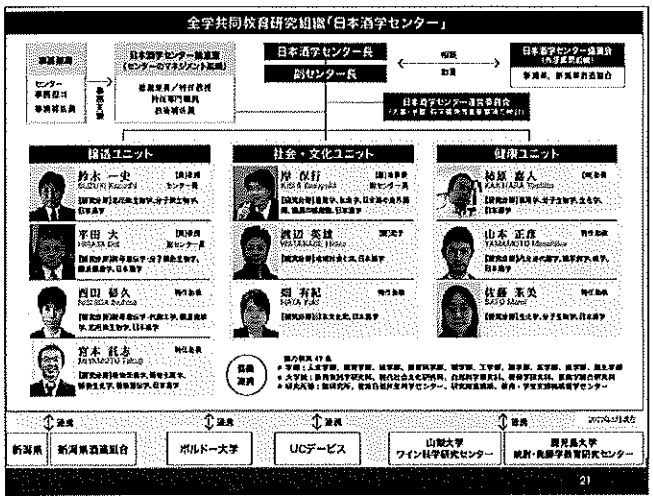
□日本酒学に係る教育・研究・情報発信・国際交流に関する事項

専任教員に加えて、全１０学部から約５０名の教員が参画

2020年１月　全学共同教育研究組織へ

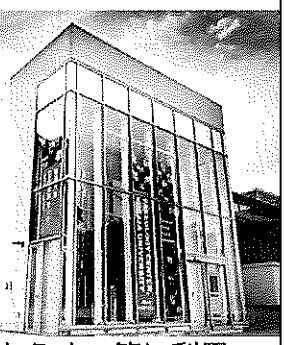
日本酒学センター





新潟大学日本酒学センター施設・設備

- セミナー室・きき酒実習室
- 展示スペース
- 試験醸造設備
  - 清酒製造免許（試験製造）取得
- 日本酒と食の美味しさ解析装置
- 分析型官能評価室
- 特任教員執務室
- 日本酒学センター推進室



研究、学生教育・実習、セミナー等に利用

日本酒学センター協力教員

協力教員:49 名

- **学部**：人文学部、教育学部、法学部、経済科学部、理学部、工学部、農学部、医学部、歯学部、創生学部
- **大学院**：教育実践学研究科、現代社会文化研究科、自然科学研究科、保健学研究科、医歯学総合研究科
- **研究所等**：脳研究所、佐渡自然共生科学センター、研究推進機構、教育・学生支援機構留学センター、

◆日本酒に関わる各分野での研究

◆日本酒学講義、大学院日本酒学プログラム（来年度開講）、日本酒学セミナー、各種公開講座、サマースクール など

真の強さを学ぶ、
新潟大學
NIIGATA UNIVERSITY

新潟大学日本酒学センターの活動　その１

教育・研究・情報発信・国際交流

新潟大学
日本酒学センター
Sakeology Center, Niigata University

文部科学省　情報ひろば企画展示

展示期間　：平成30年11月15日（木）～12月25日（火）
展示場所　：文部科学省新庁舎2階エントランス（正面）



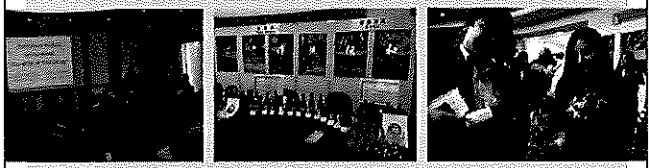
展示テーマ：地方総合大学の強みを活かした，新たな学問分野
「日本酒学」の確立と地域創生の取り組み
協力：新潟県酒造組合，新潟県醸造試験場

文部科学省　『日本酒学』体験講座



外務省　地域の魅力発信セミナー

平成30年6月21日（木）　ホテル椿山荘東京
日本の地方都市の魅力を各国の駐日大使らにアピールするセミナー
第１部　プレゼンテーション
「新潟から世界へ～世界初の『日本酒学（Sakeology）』の誕生～」
第２部　交流会　新潟県ブースで新潟清酒の試飲を実施



新潟県、新潟大学、新潟県酒造組合　３者連携

27

日本酒学開講!!



2018年4月

日本酒学A-1	第１学期第１ターム　水曜４限	定員300名
日本酒学A-2	第１学期第２ターム　水曜４限	定員300名
日本酒学B	第２学期第４ターム後、集中講義（受講者：20歳以上）	定員　30名

日本酒学A-1（基礎）　定員300名

第1ターム、週1回1単位（水４限）	担当者（所属）
日本酒学の成り立ち ～新潟大学「日本酒学」と新潟清酒業界の取り組み～	高橋均（新潟大学・理事）、 大平俊治（新潟県酒造組合・会長）
日本酒とは① ～米から醸される世界の酒～	平田大（新潟県酒造組合・副会長）、 鈴木一史（新潟大学農学部・教授）
日本酒とは②　～製造方法の基礎～	金桶光起（新潟県醸造試験場・場長）、 城斗志夫（新潟大学農学部・教授）
日本酒の地域性	金桶光起（新潟県醸造試験場・場長）
日本酒のマナー	渡辺英雄（新潟大学法学部・助手） 村山和恵（新潟青陵大学短期大学部・助教） [ゲストスピーカー]
日本酒の歴史	後藤奈美（酒類総合研究所・理事長）
日本酒と料亭・花街の文化	岡崎篤行（新潟大学工学部・教授）

29

日本酒学A-2（発展）　定員300名

第2ターム、週１コマ１単位（水４限） ＊日本酒学A-1の履修を前提	担当者（所属）
日本酒と食 ～フードペアリング、官能と科学～	伏木亨（龍谷大学・教授）
アルコールと脳	武井延之（新潟大学脳研究所・准教授）
日本酒と税金	出村仁志（新潟大学経済学部・教授） 遠山秀治（関東信越国税局・酒類業調整官） [ゲストスピーカー]
日本酒の経済学・経営学	伊藤亮司（新潟大学農学部・助教）、 岸保行（新潟大学経済学部・准教授）
日本の酒類のグローバル化　～日本酒とビール・ウイスキーとの比較～	都留康（一橋大学・教授）
日本酒と健康	伊豆英恵（酒類総合研究所・主任研究員）
日本酒の英語プレゼンテーション	Andrew WHITAKER（新潟大学農学部・准教授） 田中洋介（今代司酒造（株）社長）

30





日本酒学B（実践）　定員３０名

集中講義　第4ターム終了後 ＊20歳以上限定　日本酒学Aの受講必須	担当者（所属）
きき酒基礎編 官能検査法ときき酒の理論	
きき酒基礎編 におい、アルコール、日本酒度、甘味、酸度の識別	金桶光起（新潟県醸造試験場・場長） 佐藤圭吾（新潟県醸造試験場・専門研究員）
きき酒応用編　マッチングによる香味特性の記憶と識別	栗林馨（新潟県醸造試験場・主任研究員）
日本酒からの地域活性化 ～農業から酒蔵ツーリズム～	
県内酒蔵での実習	近藤伸一（新潟県酒造組合・副会長）
ディスカッション	平島　健（新潟県酒造組合・副会長） 金桶光起（新潟県醸造試験場・場長）
日本酒のマナー	

33

日本酒学C

日付	内容	講師・担当
第1回6月16日	ガイダンス	畑有紀、西田郁久、山本正彦、佐藤茉美、宮本託志 (新潟大学日本酒学センター・特任助教)
第2回6月23日	古典文芸に描かれた日本の酒	畑有紀(新潟大学日本酒学センター・特任助教)
第3回6月30日	日本酒から見える微生物の世界	西田郁久(新潟大学日本酒学センター・特任助教)
第4回7月7日	糖質源とアルコール摂取	山本正彦(新潟大学日本酒学センター・特任助教)
第5回7月14日	日本酒や酒粕の生理活性作用	佐藤茉美(新潟大学日本酒学センター・特任助教)
第6回7月21日	土と人とがつくる酒米	宮本託志(新潟大学日本酒学センター・特任助教)
第7回7月28日	日本酒学を考える	畑有紀、西田郁久、山本正彦、佐藤茉美、宮本託志 (新潟大学日本酒学センター・特任助教)
第8回8月4日	期末試験	

34

真の強さを学ぶ、新潟大學
NIIGATA UNIVERSITY

日本酒学のコンセプト
大学院教育

新潟大学 日本酒学センター
Sakeology Center, Niigata University

日本酒学のコンセプト①
「日本酒学」の領域

"Discipline orientation" vs "Phenomenon orientation"

古典的・領域特定型 (Discipline orientation)
経済学　農学
法学　理学
教育学　医学・歯学
人文学　工学

⇔

対象限定・領域横断型 (Phenomenon orientation)
日本酒学 (Sakeology)

- 日本文化や伝統に根ざした「日本酒」という文化的製品に特化した理論体系の構築（を目指す）
- 従来の領域を横断的に活用した理論体系の構築（を目指す）

日本酒学のコンセプト②
「日本酒学」の志向性

"Knowledge-input orientation" vs "Solution-based orientation"

知識吸収型 (Knowledge-input orientation)
- 経済学
- 農学
- 法学
- 理学
- 教育学
- 医学・歯学
- 人文学
- 工学

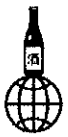
⇔

問題解決型 (Solution-based orientation)

日本酒学 (Sakeology)

- 「日本酒」に関連する領域横断的な体系的理解を進め、座学のみならず、実習や演習を取り入れた主体的な問題解決型の学びを提供する

日本酒学のコンセプト③
「日本酒学」の範囲



日本酒の一連の価値の流れの全体像を体系的に理解する

酒米の開発 | 製品の開発 | 製造機械や工程の設計 | 醸造・醗酵 | マーケティング | 流通 | 販売

バリュー・チェーン

従来の清酒の中心領域

学際的な「日本酒学」の実現 ＋ 総合大学としての強みを発揮

風土・気候 | 酒器や酒呗 | 産地呼称 | 酒の歴史 | 酒と人体 | 酒税

日本酒学のコンセプト④
「日本酒学」の位置づけ

古典的・領域特定型 (Discipline orientation)

従来の学問領域 (ex. 経済学、法学、醸造学、発酵学など)

従来型の学部主導の Active Learning

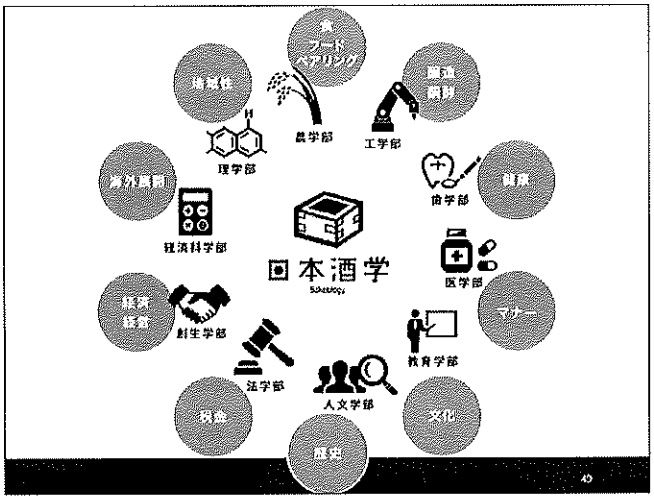
知識吸収型 (Knowledge-input orientation)

問題解決型 (Solution-based orientation)

地域研究 Ex.日本学 (Japanology)

日本酒学 Sakeology (理学+実践+酒造)

対象限定・領域横断型 (Phenomenon orientation)



新潟大学大学院日本酒学プログラム

未来を開拓できるイノベーション人材

● 課題発掘力 ● 専門・分析力 ● 社会実践力

日本酒を通して科学技術・学術の連環を体得

《文理を問わず全学生必修》
日本酒学概論I～V
基礎日本酒学実習

実際のものづくりの現場へ
発展日本酒学実習
- 新潟県醸造試験場
- 新潟醸造組合

ほか、研究機関など

研究深化に必要な分野の専門性の修得

博士前期課程

領域関連科目（前期・後期）

特定研究
総合演習

自身の興味を「連環の体系」を活用して分野を超えた深掘り

博士後期課程

日本酒から文理の学びへ

ステージUP

課題発掘・解決セミナー
文理共修の場
知の探索

様々なプロフェッショナルの招聘交流を通じて学生の志を後押し

日本酒学特論I, II

世界を知る

日本酒学国際特別研究
大学間交流協定を生かした研究
- ボルドー大学・ブドウ・ワイン学研究所
- UC Davis・ブドウ醸造学・ワイン学

ほか、海外の大学

自の強さを学ぶ、新潟大學 NIIGATA UNIVERSITY

新潟大学日本酒学センターの活動　その2

教育・研究・情報発信・国際交流

新潟大学 日本酒学センター Sakeology Center, Niigata University

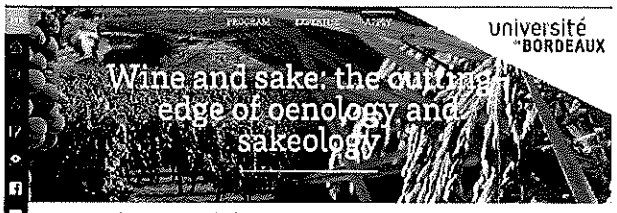
ボルドー大学およびブドウ・ワイン科学研究所との交流協定締結



写真提供：© Hugues Breiheau – Université de Bordeaux

平成31年1月15日（火）にボルドー大学（University of Bordeaux）と大学間交流協定、および同大ブドウ・ワイン科学研究所（Institute of Vine & Wine Science：ISVV）と本学日本酒学センターとの部局間交流協定を締結しました。

ボルドー大学とのサマースクール



Bordeaux Summer School - Wine and sake: the cutting-edge of oenology and sakeology

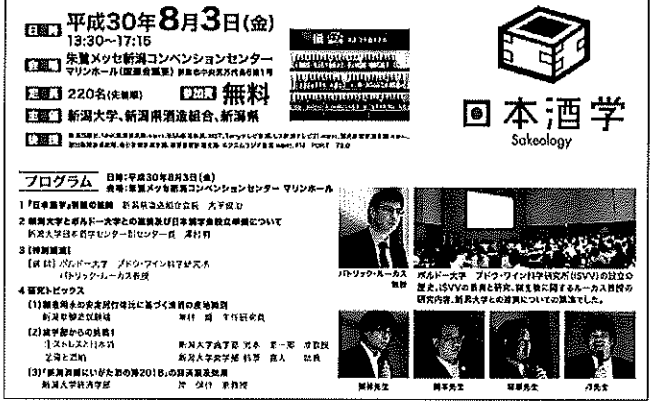
September 6th - September 10th, 2021

カリフォルニア大学デービス校訪問 交流協定締結へ



令和元年10月28日に世界トップクラスのブドウ栽培学・ワイン 学部を有すカリフォルニア大学デービス校を表敬訪問しました。今後の連携を見据えて、これまでのデービス校のブドウ栽培学・ワイン学の取り組みについて学びました。

日本酒学シンポジウム

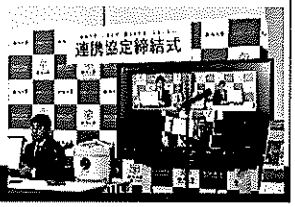


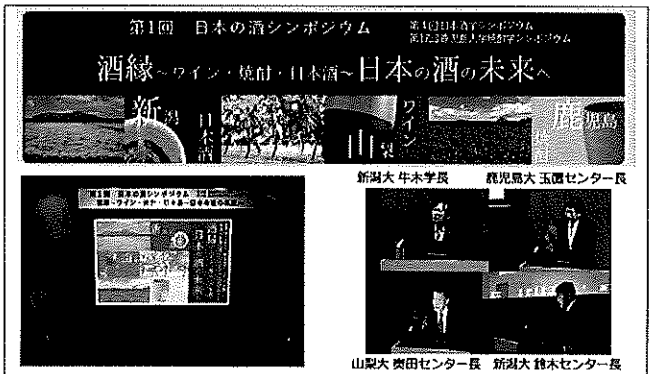
山梨大学（ワイン）、鹿児島大学（焼酎）との酒類に係る連携協定締結（2021年9月30日）

- 新潟大学日本酒学センター
- 山梨大学大学院総合研究部附属ワイン科学研究センター
- 鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター

目的：３大学センターが組織的な連携のもと、酒類に係る教育、研究、地域貢献、産学連携及び国際交流等の各面にわたって広く協力し、社会にその成果を還元し、我が国の発展、人材の育成に寄与すること。

連携協力事項
1. 酒類に係る教育・研究
2. 酒類に係る人的交流・人材育成
3. 酒類に係る地域貢献及び産学連携
4. 酒類に係る国内外の機関等との連携
5. その他





新潟大 牛木学長　鹿児島大 玉置センター長

山梨大 奥田センター長　新潟大 鈴木センター長

第一部　各センターの歴史や取り組み
第二部「日本の酒　製造法の概要」日本酒、ワイン、焼酎
「日本の酒　最先端」各センターの最新研究等
現地参加者とオンライン参加者合わせて約330名の参加

新潟発！知のツーリズム『日本酒学（Sakeology）』文化体験プログラム

文化庁「令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創生事業（イノベーション型プロジェクト）」採択を受け、主に外国人を対象とした日本酒学文化体験プログラムを、映像コンテンツで展開します。詳しくはこちらからご覧ください→新潟発!知のツーリズム『日本酒学（Sakeology）』文化体験プログラム Knowledge-based Tourism of Sakeology: Exploring Niigata Sake

日本博 →

JAPAN CULTURAL EXPO

47

❸日本酒学初級コース・ダイジェスト版(1)

1. 日本酒学ガイダンス



鈴木 一史 教授 センター長/専任教員

2. 日本酒醸造・酵母・日本酒の美味しさ



甲田 大 教授 副センター長/専任教員

西田 郁久 特任助教 センター特任教員

センター専任・特任教員、新潟醸造試験場場長が講義を担当

3. 日本酒の輸出入 日本酒の輸出と国内市場の拡大と現状



岸 保行 准教授 副センター長/専任教員

4. 日本酒の歴史 16世紀から19世紀を中心に



畑 有紀 特任助教 センター特任教員

平成30年度後期新潟大学公開講座

「日本酒学ことはじめ」開講

日程：平成30年11月2日～平成31年1月11日
毎週金曜日18：30～20：00（全8回）
会場：駅南キャンパスときめいと
対象：20歳以上の一般市民の方（日本酒の試飲あり）
募集人数：30名 → 50名

1. ガイダンス
2. 「日本酒」ってなに？
3. 日本酒と食
4. 日本酒の流通・販売・国際展開
5. 日本酒と酒米
6. 日本酒と健康
7. 新潟の酒造りの歴史
8. 利き酒の基礎

講師陣：新潟大学教員、新潟県醸造試験場研究員

51

クラウドファンディング

新潟大学から日本酒研究の世界的拠点を生む／日本酒学プロジェクト

日本酒を世界酒に 新潟を世界の醸造地に 新潟大学を世界のSakeの研究拠点に！

いただいたご寄附で実現できること

酒造の本免許を有する連携機関である新潟県醸造試験場に、日本酒醸造用の小型プラント（小型タンク、温度管理システム）を設置



小型プラントのイメージ

日本酒の未来を担う学生たちが
－よりリアルな酒造りの一連のプロセスを体験する
－日本酒づくりを介した地域性を考える
－日本酒業界の明るい未来につながる基盤研究に取り組む
（水・米・醸造微生物・発酵管理技術等）

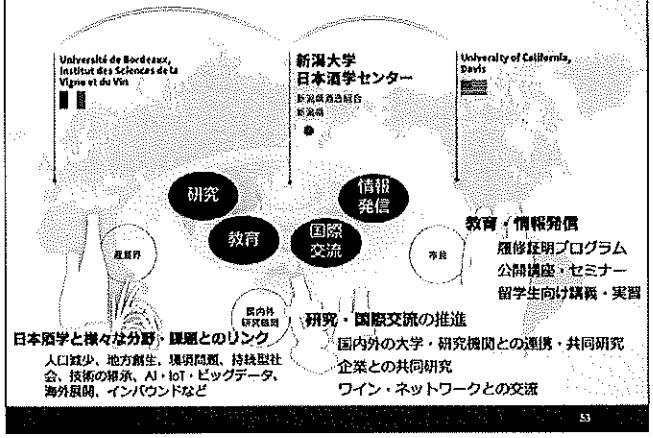
世界中で日本酒ビジネスに関わる方々やこれから関わりたいと考えている方々が
－よりリアルな酒づくりの試験醸造を体験する
（履修証明プログラム：検討中）

・目標金額：600万円 目標達成！
・形式：寄付金経緯型 / All or Nothing形式
・募集期間：2022/2/17（木）～4/15（金）
・https://readyfor.jp/projects/Sakeology/
・御礼（ギフト）：日本酒学センターロゴ入りお猪口、日本酒の試飲アンケート、日本酒学き き酒講座（オンライン）、日本酒学ツーリズム ほか



地域や社会・世界に開かれたセンターとなり、醸官学民が一体となった、これまでに類を見ない日本酒研究の新たな世界的拠点として、その地位を確立していきたい

新潟大学日本酒学センター 日本酒学の世界的な拠点



教育・情報発信
履修証明プログラム
公開講座・セミナー
留学生向け講義・実習

研究・国際交流の推進
国内外の大学・研究機関との連携・共同研究
企業との共同研究
ワイン・ネットワークとの交流

日本酒学と様々な分野・課題とのリンク
人口減少、地方創生、環境問題、持続型社会、技術の継承、AI・IoT・ビッグデータ、海外展開、インバウンドなど

53



新潟大学 日本酒学 で検索
https://sake.niigata-u.ac.jp/

医師会立共同利用施設一覧

山梨県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
甲府市医師会救急医療センター	400-0857	甲府市幸町14-6 甲府市医療福祉会館内	診療所
甲府市医師会健診・検査センター健康管理部	400-0857	甲府市幸町14-6 甲府市医療福祉会館内	健診センター
甲府市医師会健診・検査センター臨床検査部	400-0857	甲府市幸町14-6 甲府市医療福祉会館内	検査センター
山梨県富士・東部小児初期救急医療センター	403-0013	富士吉田市緑ヶ丘2-7-21 富士北麓総合医療センター内	診療所
富士吉田医師会臨床検査センター	403-0013	富士吉田市緑ヶ丘2-7-21 富士北麓総合医療センター内	健診・検査複合体

茨城県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
水戸市医師会介護保険センターみと	310-0913	水戸市見川町2131-6	居宅介護支援事業所
水戸市医師会訪問看護ステーションみと	310-0913	水戸市見川町2131-6	訪問看護ステーション
日立メディカルセンター	317-0073	日立市幸町1-17-1	健診センター
日立市医師会ケアプラン作成事業所ひたち	316-0004	日立市東多賀町5-6-15	居宅介護支援事業所
日立市医師会福祉用具レンタル事業所	316-0004	日立市東多賀町5-6-15	その他
日立市医師会訪問看護ステーションひたち	316-0004	日立市東多賀町5-6-15	訪問看護ステーション
訪問看護ステーションうしく	300-1212	牛久市結束町495-4	訪問看護・居宅介護
訪問看護ステーション龍ケ崎	301-8611	龍ヶ崎市3710(附属棟2階)	訪問看護・居宅介護
取手市医師会ひまわり居宅介護支援事業所	302-0032	取手市野々井1926-2	居宅介護
取手市医師会訪問看護ステーションひまわり	302-0032	取手市野々井1926-2	訪問看護ステーション
取手北相馬保健医療センター医師会病院	302-0032	取手市野々井1926	病院
取手北相馬保健医療センター医師会病院健診科	302-0032	取手市野々井1926	健診・検査複合体
取手北相馬保健医療センター医師会病院臨床検査科	302-0032	取手市野々井1926	健診・検査複合体
ひたちなか市医師会居宅介護支援事業所	312-0057	ひたちなか市石川町20-32	居宅介護支援事業所
筑波メディカルセンター病院	305-8558	つくば市天久保1-3-1	病院
きぬ医師会通所リハビリテーションセンター	303-0016	常総市新井木町13-3	その他
きぬ医師会病院	303-0016	常総市新井木町13-3	病院
きぬ医師会訪問看護ステーション	303-0016	常総市新井木町13-3	訪問看護ステーション
きぬ医師会訪問看護ステーションいわい出張所	306-0631	坂東市岩井4421-6	訪問看護ステーション
きぬ医師会訪問入浴事業所(休止中)	303-0016	常総市新井木町13-3	その他
居宅介護支援事業所きぬ医師会病院	303-0016	常総市新井木町13-3	居宅介護支援事業所
笠間市医師会訪問看護ステーションふきのとう	309-1625	笠間市来栖266-4	訪問看護ステーション
多賀医師会訪問看護ステーション	318-0033	高萩市本町1-208	訪問看護・居宅介護
多賀医師会訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	318-0033	高萩市本町1-208	居宅介護支援事業所
水郷医師会居宅介護支援事業所	311-3832	行方市麻生1570-1	居宅介護支援事業所
水郷医師会訪問看護ステーション	311-3832	行方市麻生1570-1	訪問看護ステーション
真壁医師会訪問看護ステーションしもだて	308-0841	筑西市二木成1491	訪問看護ステーション
真壁医師会立訪問看護ステーションしもつま	304-0064	下妻市大字本城町3-13	訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所しもつま	304-0064	下妻市大字本城町3-13	居宅介護支援事業所
猿島郡在宅医療介護推進センター	306-0433	猿島郡境町2190	その他
茨城県メディカルセンター	310-0852	水戸市笠原町489	健診センター
地域ケア推進センター	310-0852	水戸市笠原町489	在宅医療介護連携

神奈川県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
旭区医師会居宅支援センター	241-0821	横浜市旭区二俣川1-88-24	居宅介護支援事業所
旭区医師会在宅医療相談室	241-0821	横浜市旭区二俣川1-88-24	その他
旭区医師会特定支援事業所	241-0821	横浜市旭区二俣川1-88-24	その他
旭訪問看護リハビリステーション	241-0821	横浜市旭区二俣川1-88-24	訪問看護ステーション
磯子区在宅医療連携拠点 相談室かけはし	235-0016	横浜市磯子区磯子1-3-13	その他
横浜市栄区在宅医療相談室	247-0014	横浜市栄区公田町635	その他
横浜市磯子区医師会居宅支援センター	235-0016	横浜市磯子区磯子1-3-13	居宅介護支援事業所
横浜市磯子区医師会訪問看護ステーション	235-0016	横浜市磯子区磯子1-3-13	訪問看護ステーション
横浜市栄区医師会栄区居宅支援センター	247-0014	横浜市栄区公田町635	居宅介護支援事業所
横浜市栄区医師会栄区訪問看護ステーション	247-0014	横浜市栄区公田町635	訪問看護ステーション
横浜市港南区医師会居宅介護支援ステーション	233-0004	横浜市港南区港南中央通7-29	居宅介護支援事業所
横浜市港南区医師会訪問看護ステーション	233-0004	横浜市港南区港南中央通7-29	訪問看護ステーション
横浜市瀬谷区医師会ヘルパーステーション	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	ホームヘルパーステーション
横浜市瀬谷区医師会居宅介護支援事業所	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	居宅介護支援事業所
横浜市瀬谷区医師会訪問看護ステーション	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	訪問看護ステーション
横浜市西区医師会居宅支援ステーション	220-0051	横浜市西区中央1-15-18	居宅介護支援事業所
横浜市西区医師会訪問看護ステーション	220-0051	横浜市西区中央1-15-18	訪問看護ステーション
横浜市西区在宅医療相談室	220-0051	横浜市西区中央1-15-18	その他
横浜市青葉区医師会 栄養・ケアステーション	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	その他
横浜市青葉区医師会居宅介護支援事業所	227-0064	横浜市青葉区田奈町13-1 フォレスト1F	居宅介護支援事業所
横浜市青葉区医師会青葉区在宅医療連携拠点	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	その他
横浜市青葉区医師会訪問介護ステーション	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	ホームヘルパーステーション
横浜市青葉区医師会訪問看護ステーション	227-0064	横浜市青葉区田奈町13-1 フォレスト1F	訪問看護ステーション
横浜市青葉区医師会訪問看護ステーション 荏田北サテライト	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	訪問看護ステーション
横浜市青葉区医師会療養通所介護事業所	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	その他
横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター拠点	225-0015	横浜市青葉区荏田北3-8-6	その他
横浜市泉区医師会訪問看護ステーション	245-0012	横浜市泉区和泉中央北5-1-5	訪問看護ステーション
横浜市泉区医師会居宅介護支援センター	245-0012	横浜市泉区和泉中央北5-1-5	居宅介護支援事業所
横浜市泉区在宅医療相談室	245-0012	横浜市泉区和泉中央北5-1-5	その他
横浜市中区医療センター居宅支援センター	231-0806	横浜市中区本牧町2-353 中区医療センター3階	居宅介護支援事業所
横浜市中区医療センター在宅医療相談室	231-0806	横浜市中区本牧町2-353 中区医療センター3階	その他
横浜市中区医療センター訪問看護ステーション	231-0806	横浜市中区本牧町2-353 中区医療センター3階	訪問看護ステーション
横浜市都筑区医師会24時間在宅ケアステーション	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-20-21	訪問看護・ホームヘルパーステーション
横浜市都筑区医師会ナーシングホーム(小規模多機能型居宅介護)	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-20-21	その他
横浜市都筑区医師会ヘルパーステーション	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-20-21	ホームヘルパーステーション
横浜市都筑区医師会居宅支援センター	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-23-4	居宅介護支援事業所
横浜市都筑区医師会福祉用具センター	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-23-4	その他
横浜市都筑区医師会訪問看護ステーション	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-20-21	訪問看護ステーション
横浜市保土ケ谷区医師会居宅支援センター	240-0003	横浜市保土ケ谷区天王町1-21 保土ケ谷区休日急患診療所内	居宅介護支援事業所
横浜市保土ケ谷区医師会訪問看護ステーション	240-0003	横浜市保土ケ谷区天王町1-21 保土ケ谷区休日急患診療所内	訪問看護ステーション
金沢区在宅医療相談室	236-0015	横浜市金沢区金沢町48 金沢区三師会館内	その他
金沢区三師会立訪問看護ステーション	236-0021	横浜市金沢区泥亀1-21-5「いきいきセンター金沢」内	訪問看護ステーション
戸塚区医師会訪問看護ステーション	244-0003	横浜市戸塚区戸塚町4141-1	訪問看護・居宅介護

神奈川県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
戸塚区在宅医療相談室	244-0003	横浜市戸塚区戸塚町4141-1	その他
港南区在宅医療相談室	233-0004	横浜市港南区港南中央通7-29	その他
港北区医師会ケアマネジメントステーション	222-0011	横浜市港北区菊名7-8-27	居宅介護支援事業所
港北区医師会訪問看護ステーション	222-0011	横浜市港北区菊名7-8-27	訪問看護ステーション
港北区在宅医療相談室	222-0011	横浜市港北区菊名7-8-27	その他
神奈川区医師会メディカルセンター神奈川区医師会居宅介護支援センター	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4 はーと友神奈川3F	居宅介護支援事業所
神奈川区医師会メディカルセンター神奈川区医師会訪問看護ステーション	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4 はーと友神奈川3F	訪問看護ステーション
神奈川区在宅医療連携拠点	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4 はーと友神奈川3F	その他
瀬谷区在宅医療相談室	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	その他
鶴見区医師会介護支援ステーション	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22 3F 鶴見区休日急患診療所内	居宅介護支援事業所
鶴見区医師会訪問看護ステーション	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22 3F 鶴見区休日急患診療所内	訪問看護ステーション
鶴見区医師会矢向訪問看護ステーション	230-0001	横浜市鶴見区矢向2-13-5	訪問看護ステーション
鶴見区在宅医療連携拠点 さわやか相談室	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22 3F 鶴見区休日急患診療所内	その他
鶴見区在宅医療連携拠点 さわやか相談室 出張所	230-0012	横浜市鶴見区下末吉3-6-1 済生会横浜市東部病院内	その他
南区医師会居宅介護支援センター	232-0017	横浜市南区宿町4-76-1	居宅介護支援事業所
南区医師会訪問看護ステーション	232-0017	横浜市南区宿町4-76-1南区休日急患診療所内	訪問看護ステーション
南区在宅医療相談室	232-0017	横浜市南区宿町4-76-1南区医師会内	その他
横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター事業	232-0017	横浜市南区宿町4-76-1南区医師会内	その他
保土ケ谷区在宅医療相談室	240-0003	横浜市保土ケ谷区天王町1-21 保土ケ谷区休日急患診療所内	その他
緑区医師会居宅支援センター	226-0019	横浜市緑区中山3－16－2 緑区休日急患診療所内	居宅介護支援事業所
緑区医師会訪問看護ステーション	226-0019	横浜市緑区中山3－16－2 緑区休日急患診療所内	訪問看護ステーション
緑区在宅医療相談室	226-0019	横浜市緑区中山3－16－2 緑区休日急患診療所内	その他
海老名市さつき町地域包括支援センター	243-0421	海老名市さつき町41	地域包括支援センター
海老名市医師会検査センター	243-0421	海老名市さつき町41	検査センター
海老名市医師会訪問看護ステーション	243-0421	海老名市さつき町41	訪問看護ステーション
えびな在宅医療相談室	243-0421	海老名市さつき町41	その他
鎌倉市医師会鎌倉ヘルパーステーション	248-0013	鎌倉市材木座3-5-35	ホームヘルパーステーション
鎌倉市医師会鎌倉居宅介護支援事業所	248-0013	鎌倉市材木座3-5-35	居宅介護支援事業所
鎌倉市医師会鎌倉訪問看護ステーション	248-0013	鎌倉市材木座3-5-35	訪問看護ステーション
鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター	248-0013	鎌倉市材木座3-5-35 3F	その他
厚木医師会訪問看護ステーション	243-0011	厚木市厚木町6-1	訪問看護ステーション
厚木医師会在宅医療相談室ルリアン	243-0011	厚木市厚木町6-1	その他
小田原医師会訪問看護ステーション	256-0816	小田原市酒匂2-32-16 小田原市保健センター内	訪問看護・居宅介護
東・北地域高齢者支援センター	257-0031	秦野市曽屋11番地	地域包括支援センター
逗葉地域医療センター	249-0003	逗子市池子字桟敷戸1892-6	健診センター
逗葉地域医療センター訪問看護ステーション	249-0003	逗子市池子字桟敷戸1892-6	訪問看護ステーション
相模原市医師会訪問看護ステーション	252-0236	相模原市中央区富士見6-6-1大賀ビル201	訪問看護ステーション
足柄上医師会訪問看護ステーション	258-0021	足柄上郡開成町吉田島580	訪問看護・居宅介護
秦野伊勢原医師会居宅介護支援事業所	257-0031	秦野市曽屋11	居宅介護支援事業所
大和市医師会居宅介護支援事業所	242-0004	大和市鶴間1-28-5	居宅介護支援事業所
大和市医師会訪問看護ステーション	242-0004	大和市鶴間1-28-5	訪問看護ステーション
大和市在宅医療・介護連携支援センター	242-0004	大和市鶴間1-28-5	その他
藤沢市保健医療財団藤沢市保健医療センター	251-0861	藤沢市大庭5527-1	健診センター

神奈川県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
在宅医療支援センター	251-0032	藤沢市片瀬339-1	その他
平塚市医師会訪問看護ステーション	254-0082	平塚市東豊田448-3 平塚市保健センター内	訪問看護・居宅介護
横浜市都筑区医師会在宅医療相談室	224-0015	横浜市都筑区牛久保西1-23-4	その他
足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター	258-0003	足柄上郡松田町松田惣領866-1 県立足柄上病院内	その他
神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター	241-0815	横浜市旭区中尾1-5-1 敷地内建物2F	その他
座間市地域医療・介護連携支援室	252-0021	座間市緑ヶ丘1-1-3	その他

群馬県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
(公財)群馬県健康づくり財団	371-0005	前橋市堀之下町16-1	健診・検査複合体
(公財)高崎・地域医療センター	370-0829	高崎市高松町5-28	健診・検査複合体
愛老園	372-0006	伊勢崎市太田町686	特養
伊勢崎佐波医師会居宅介護支援事業所	372-0024	伊勢崎市下植木町481	居宅介護支援事業所
伊勢崎佐波医師会病院	372-0024	伊勢崎市下植木町481	病院
伊勢崎佐波医師会病院検査科	372-0024	伊勢崎市下植木町481	検査センター
伊勢崎佐波医師会病院訪問看護ステーション	372-0024	伊勢崎市下植木町481	訪問看護ステーション
伊勢崎佐波医師会附属成人病検診センター	372-0024	伊勢崎市下植木町502	健診・検査複合体
館林市邑楽郡医師会立訪問看護ステーションたてばやし	374-0043	館林市苗木町2497-17	訪問看護ステーション
桐生市医師会立ヘルパーステーションきりゅう	376-0031	桐生市本町6-30	ホームヘルパーステーション
桐生市医師会立居宅介護支援事業所きりゅう	376-0027	桐生市元宿町18-2	居宅介護支援事業所
桐生市医師会立訪問看護ステーションきりゅう	376-0027	桐生市元宿町18-2	訪問看護ステーション
桐生市医師会立臨床検査センター	376-0027	桐生市元宿町18-2	検査センター
群馬県医師会群馬リハビリテーション病院	377-0541	吾妻郡中之条町大字上沢渡2136	病院
前橋市医師会立訪問看護ステーションまえばし	371-0035	前橋市岩神町2-3-5	訪問看護ステーション

埼玉県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
浦和医師会メディカルセンター	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18	健診・検査複合体
浦和医師会健診センター	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18	健診・検査複合体
浦和医師会居宅介護支援センター	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18	居宅介護支援事業所
浦和在宅医療支援相談センター	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-18 浦和医師会館4階	在宅医療介護連携
川口市在宅医療サポートセンター	332-0012	川口市本町4-1-8 川口センタービル4階 川口市医師会内	在宅医療介護連携
さいたま市民医療センター	331-0054	さいたま市西区島根299-1	病院
大宮医師会メディカルセンター	331-8689	さいたま市北区東大成町2-107 大宮医師会館2F	健診・検査複合体
大宮在宅医療支援センター	331-8689	さいたま市北区東大成町2-107 大宮医師会館2階	在宅医療介護連携
川越市医師会訪問看護ステーション	350-0036	川越市小仙波町2-53-1 医師会館内1F	訪問看護ステーション
川越市地域包括支援センター連雀町	350-0042	川越市中原町2-1-9 子育て安心施設4階	地域包括支援センター
川越市医師会居宅介護支援事業所 こすもす	350-0036	川越市小仙波町2-53-1 医師会館内1F	居宅介護支援事業所
川越市医師会介護老人保健施設いぶき	350-0812	川越市大字下小坂501-1	介護老人保健施設
川越市医師会在宅医療拠点センター	350-0036	川越市小仙波町2-53-1 医師会館内4F	在宅医療介護連携
熊谷市在宅医療拠点	360-0012	熊谷市上之3854 医療生協さいたま 熊谷生協病院内	在宅医療介護連携
行田市在宅医療支援センター	361-0021	行田市富士見町2-17-17 行田中央総合病院内	在宅医療介護連携
所沢市医師会訪問看護ステーション	359-0025	所沢市上安松1224-1 保健センター内	訪問看護ステーション
所沢市医師会松井西地域包括支援センター	359-0025	所沢市上安松1283-4	地域包括支援センター

埼玉県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
所沢市医師会居宅介護支援事業所	359-0025	所沢市上安松1283-4	居宅介護支援事業所
所沢市医師会ヘルパーステーション	359-0025	所沢市上安松1283-4	ホームヘルパーステーション
所沢市医療介護連携支援センター	359-0025	所沢市上安松1224-1 保健センター内	在宅医療介護連携
わらびとだ訪問看護ステーション	335-0004	蕨市中央4-9-22 福祉児童センター内2F	訪問看護ステーション
わらびとだ訪問看護ステーション介護支援事業所	335-0004	蕨市中央4-9-22 福祉児童センター2F	居宅介護支援事業所
蕨戸田市在宅医療支援センター	335-0004	蕨市中央4-9-22 わらびとだ訪問看護ステーション内	在宅医療介護連携
桶川北本伊奈地区医師会訪問看護ステーション	364-0014	北本市二ツ家3-183	訪問看護ステーション
桶川北本伊奈地区在宅医療連携センター	364-0014	北本市二ツ家3-183	在宅医療介護連携
鴻巣訪問看護ステーション	365-0036	鴻巣市天神5-11-11	訪問看護ステーション
鴻巣地区在宅医療連携センター	365-0036	鴻巣市天神5-11-11	在宅医療介護連携
上尾市医師会在宅医療連携支援センター	362-8588	上尾市柏座1-10-10 上尾中央総合病院内	在宅医療介護連携
地域包括ケア支援室	351-0104	和光市南1-23-1 和光市総合福祉会館2階	在宅医療介護連携
在宅医療サポートセンター	340-0016	草加市中央1-5-22 草加市保健センター1階	在宅医療介護連携
与野在宅医療センター	338-0003	さいたま市中央区本町東4-4-3 旧中央区保健センター3階	在宅医療介護連携
入間市在宅医療支援センター	358-0013	入間市上藤沢730-1　入間市健康福祉センター3階	在宅医療介護連携
毛呂山越生在宅医療相談室	350-0451	毛呂山町大字毛呂本郷1006 くらしワンストップMOROHAPPINESS館3階	在宅医療介護連携
在宅医療連携拠点 はんのう	357-0021	飯能市双柳371-13 飯能市総合福祉センター2階	在宅医療介護連携
東入間医師会訪問看護ステーション	356-0038	ふじみ野市駒林元町3-1-20	訪問看護ステーション
東入間医師会　地域医療・介護相談室	356-0038	ふじみ野市駒林元町3-1-20 訪問看護ステーション内	在宅医療介護連携
東入間医師会休日急患診療所	356-0038	ふじみ野市駒林元町3-1-20	休日診療所
鶴ヶ島市地域包括支援センターいきいき	350-2217	鶴ヶ島市大字三ツ木16-1 鶴ヶ島市役所1階	地域包括支援センター
坂戸鶴ヶ島医師会立訪問看護ステーション さつき	350-0212	坂戸市大字石井2327-5	訪問看護ステーション
坂戸鶴ヶ島医師会立居宅介護支援事業所　さつき	350-0212	坂戸市大字石井2327-5	居宅介護支援事業所
坂戸鶴ヶ島医師会在宅医療相談室	350-0212	坂戸市大字石井2327-5	在宅医療介護連携
狭山市医師会訪問看護ステーション	350-1304	狭山市狭山台1-21　狭山准看護学校1F	訪問看護ステーション
狭山市医師会指定居宅介護支援事業所	350-1304	狭山市狭山台1-21　狭山准看護学校1F	居宅介護支援事業所
狭山市医師会在宅医療支援センター	350-1304	狭山市狭山台3-24	在宅医療介護連携
東松山医師会病院	355-0021	東松山市神明町1-15-10	病院
東松山医師会病院臨床検査センター	355-0021	東松山市神明町1-15-10	検査センター
東松山医師会病院健診センター	355-0021	東松山市神明町1-15-10	健診センター
東松山医師会訪問看護ステーション	355-0021	東松山市神明町1-15-10	訪問看護ステーション
比企医師会在宅医療連携拠点	355-0016	東松山市材木町2-36	在宅医療介護連携
ちちぶ在宅医療・介護連携相談室	368-0025	秩父市桜木町8-9 秩父市立病院地域医療連携室	在宅医療介護連携
本庄市児玉郡医師会立訪問看護ステーション	367-0061	本庄市小島6-8-8	訪問看護ステーション
本庄市児玉郡医師会立健診センター	367-0031	本庄市北堀1422　本庄市保健センター内	健診・検査複合体
本庄市児玉郡医師会在宅医療連携拠点	367-0061	本庄市小島6-8-8 本庄市児玉郡医師会立訪問看護ステーション内	在宅医療介護連携
深谷寄居医師会メディカルセンター	366-0052	深谷市上柴町西3-6-1	健診・検査複合体
深谷寄居医師会老人保健施設FOMA・なごみ	366-0019	深谷市新戒413-1	在宅介護支援センター
深谷寄居医師会老人保健施設FOMA・なごみ	366-0019	深谷市新戒413-1	介護老人保健施設
深谷寄居在宅医療連携室	366-0033	深谷市国済寺319－3	在宅医療介護連携
大里広域地域包括支援センター医師会なごみ	366-0033	深谷市国済寺319－3	地域包括支援センター
北埼玉医師会訪問看護ステーション	347-0043	加須市馬内441	訪問看護ステーション
北埼玉医師会メディカルセンター	347-0043	加須市馬内441	検査センター

埼玉県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
北埼玉医師会居宅介護支援事業所	347-0043	加須市馬内441	居宅介護支援事業所
加須市医療診断センター	347-0045	加須市富士見5-38	健診・検査複合体
老人保健施設カノープス・羽生	348-0051	羽生市大字本川俣1305	介護老人保健施設
北埼玉在宅医療連携室	347-0043	加須市馬内441	在宅医療介護連携
南埼玉郡市在宅医療サポートセンター(久喜)	346-0005	久喜市本町5-3-19 南埼玉郡市医師会事務局内	在宅医療介護連携
南埼玉郡市在宅医療サポートセンター (蓮田、白岡、宮代)	349-0196	蓮田市黒浜4147 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院内	在宅医療介護連携
久喜市医師会訪問看護ステーション よろこび	346-0005	久喜市本町5-3-19	訪問看護ステーション
久喜市医師会居宅介護支援事業所よろこび	346-0005	久喜市本町5-3-19	居宅介護支援事業所
越谷市医師会立訪問看護ステーション	343-0023	越谷市東越谷十丁目31番地	訪問看護ステーション
越谷市医療と介護の連携窓口	343-0023	越谷市東越谷十丁目31番地	在宅医療介護連携
春日部市医師会立訪問看護ステーション藤	344-0023	春日部市大枝89 7街区4棟	訪問看護ステーション
春日部市地域包括ケアシステム推進センター	344-0063	春日部市緑町6-11-41 春日部厚生病院内	在宅医療介護連携
岩槻区医療介護連携支援センター	339-0057	さいたま市岩槻区本町2-7-2 訪問看護ステーションいわつき内	在宅医療介護連携
在宅医療連携拠点 菜のはな	340-0153	幸手市吉野517-5 東埼玉総合病院内	在宅医療介護連携
吉川松伏医師会訪問看護ステーション	342-0061	吉川市中央2-7-10 医師会館内3階	訪問看護ステーション
吉川松伏医師会居宅介護支援事業所	342-0061	吉川市中央2-7-10 医師会館内3階	居宅介護支援事業所
吉川松伏在宅医療サポートセンター	342-0061	吉川市中央2-7-10 医師会館内1階	在宅医療介護連携
三郷市医師会訪問看護ステーション	341-0042	三郷市谷口544	訪問看護ステーション
三郷市医師会居宅介護支援事業所	341-0042	三郷市谷口544	居宅介護支援事業所
三郷市在宅医療・介護連携サポートセンター	341-0042	三郷市谷口544 三郷市保健センター分室	在宅医療介護連携

千葉県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
夷隅医師会診療所	298-0004	いすみ市大原7400-24	健診センター
市川市医師会訪問看護ステーション	272-0826	市川市真間1-9-10	訪問看護ステーション
市川市医師会地域医療支援センター	272-0826	市川市真間1-9-10	その他
千葉市医師会訪問看護ステーション	260-0042	千葉市中央区椿森5-4-3	訪問看護・居宅介護
茂原市長生郡医師会巡回診療所	297-0024	茂原市八千代1-5-4	健診センター
茂原市長生郡医師会訪問看護ステーション	297-0024	茂原市八千代1-5-4	訪問看護ステーション
船橋市在宅医療支援拠点 ふなぽーと	273-8506	船橋市北本町1-16-55 船橋市保健福祉センター1F	在宅医療介護連携
松戸市在宅医療・介護連携支援センター	271-0072	松戸市竹ヶ花45-53 松戸市衛生会館2階	在宅医療介護連携
千葉県医師会地域医療総合支援センター	260-0026	千葉市中央区千葉港4-1	在宅医療介護連携

東京都医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
東京都リハビリテーション病院	131-0034	墨田区堤通2-14-1	病院
板橋区医師会病院	175-0082	板橋区高島平3-12-6	病院
新宿区医師会区民健康センター	160-0022	新宿区新宿7-26-4	健診センター
品川区医師会健診センター	140-0001	品川区北品川3-7-25 品川区医師会館1F	健診センター
国分寺市医師会公衆衛生センター	185-0024	国分寺市泉町2-3-8 国分寺市いずみプラザ2F	健診センター
(公財)武蔵野健康づくり事業団付属診療所	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町4-8-10 武蔵野市立保健センター2F	健診センター
荏原医師会臨床検査センター	142-0053	品川区中延2-6-5 荏原医師会館内	検査センター
武蔵野市医師会臨床検査センター	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町4-8-10 武蔵野市立保健センター4F	検査センター

東京都医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
江戸川区医師会医療検査センター	134-0091	江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀6F	健診・検査複合体
豊島健康診査センター	170-0012	豊島区上池袋2-5-1 豊島区立健康プラザとしま6F	健診・検査複合体
練馬区医師会医療健診センター	177-0033	練馬区高野台2-23-20	健診・検査複合体
中央区立介護老人保健施設リハポート明石	104-0044	中央区明石町1-6	介護老人保健施設
中央区医師会訪問看護ステーションあかし	104-0044	中央区明石町1-6	訪問看護ステーション
医師会立中央区訪問看護ステーション	103-0001	中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア1F	訪問看護ステーション
小石川医師会訪問看護ステーション	112-0002	文京区小石川5-6-9	訪問看護ステーション
(公社)墨田区医師会立訪問看護ステーション	130-0002	墨田区業平1-7-25	訪問看護ステーション
荒川区医師会訪問看護ステーション	116-0013	荒川区西日暮里6-5-3 荒川区医師会館別館3F	訪問看護ステーション
葛飾区医師会訪問看護ステーション	124-0012	葛飾区立石6-8-14 パークアベニュー1F	訪問看護ステーション
江戸川区医師会訪問看護ステーション	132-0021	江戸川区中央4-24-14 江戸川区医師会館内	訪問看護ステーション
江戸川区医師会訪問看護ステーション一之江分室	134-0015	江戸川区西瑞江5-1-6 江戸川区医師会地域医療支援センター内	訪問看護ステーション
江東区医師会訪問看護ステーション	135-0016	江東区東陽5-31-18 江東区医師会館2F	訪問看護ステーション
(一社)中野区医師会訪問看護ステーション	164-8558	中野区中野2-27-17 中野区医師会館内	訪問看護ステーション
杉並区医師会訪問看護ステーション	167-0032	杉並区天沼3-19-14 フェニックス杉並1F	訪問看護ステーション
医師会立品川区訪問看護ステーション	140-0001	品川区北品川3-7-25 品川区医師会館2F	訪問看護ステーション
医師会立荏原訪問看護ステーション	142-0053	品川区中延2-6-5 荏原医師会館内	訪問看護ステーション
大森医師会立訪問看護ステーション	143-0024	大田区中央4-31-14 大森医師会館2F	訪問看護ステーション
田園調布医師会立訪問看護ステーション	145-0061	大田区石川町2-7-1 田園調布医師会館内	訪問看護ステーション
北区医師会訪問看護ステーション	114-8575	北区王子2-16-11 北区医師会館内	訪問看護ステーション
板橋区医師会訪問看護ステーション	175-0082	板橋区高島平2-32-2-107	訪問看護ステーション
練馬区医師会訪問看護ステーション	176-0012	練馬区高野台2-23-20	訪問看護ステーション
調布市医師会訪問看護ステーション	182-0026	調布市小島町3-68-9 調布市医師会館内	訪問看護ステーション
府中市医師会訪問看護ステーション	183-0055	府中市府中町2-25-17 府中市医師会館内	訪問看護ステーション
町田市医師会訪問看護ステーション	194-0023	町田市旭町1-4-5 町田市医師会館内	訪問看護ステーション
西東京市医師会訪問看護ステーション	202-0013	西東京市中町1-1-5 西東京市中町分庁舎	訪問看護ステーション
八王子市医師会立訪問看護ステーション サテライト東	192-0355	八王子市堀之内3-33-8 サンドリヨン1F	訪問看護ステーション
八王子市医師会立訪問看護ステーション中央Ⅰ	192-0066	八王子市本町13-2 八王子市医師会館内	訪問看護ステーション
八王子市医師会立訪問看護ステーション中央Ⅱ	192-0066	八王子市本町13-2 八王子市医師会館内	訪問看護ステーション
八王子市医師会立訪問看護ステーション サテライト西	193-0824	八王子市長房町373-2-2F	訪問看護ステーション
日野市医師会訪問看護ステーションたかはた	191-0031	日野市高幡1011 日野市立福祉支援センター2F	訪問看護ステーション
日野市医師会訪問看護ステーション	191-0062	日野市多摩平3-1-12	訪問看護ステーション
国分寺市医師会訪問看護ステーション	185-0024	国分寺市泉町2-3-8 国分寺市いずみプラザ2F	訪問看護ステーション
狛江市医師会訪問看護ステーション	201-0013	狛江市元和泉2-35-1 あいとぴあセンター内	訪問看護ステーション
小平市医師会訪問看護ステーション	187-0032	小平市学園西町3-24-13 小平市医師会館2F	訪問看護ステーション
武蔵村山市訪問看護ステーション	208-0011	武蔵村山市学園4-5-1 武蔵村山市民総合センター2F	訪問看護ステーション
京橋おとしより相談センター	104-0044	中央区明石町1-6	地域包括支援センター
日本橋おとしより相談センター	103-0001	中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア1F	地域包括支援センター
熟年相談室(地域包括支援センター)江戸川区医師会	132-0021	江戸川区中央4-24-14	地域包括支援センター
熟年相談室(地域包括支援センター)江戸川区医師会一之江	134-0015	江戸川区西瑞江5-1-6 江戸川区医師会地域医療支援センター内	地域包括支援センター
渋谷区ひがし健康プラザ地域包括支援センター	150-0011	渋谷区東3-14-13 渋谷区ひがし健康プラザ1F	地域包括支援センター
渋谷区かんなみの杜・渋谷地域包括支援センター	150-0041	渋谷区神南1-8-6	地域包括支援センター
杉並区地域包括支援センターケア24荻窪	167-0051	杉並区荻窪5-20-1 杉並区立保健医療センター2F	地域包括支援センター

東京都医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
大田区地域包括支援センター新井宿(大森医師会)	143-0024	大田区中央1-21-6 新井宿特別出張所2F	地域包括支援センター
大田区地域包括支援センター千束(田園調布医師会)	145-0061	大田区石川町2-7-1 田園調布医師会館内	地域包括支援センター
大田区地域包括支援センター蒲田東(蒲田医師会)	144-0052	大田区蒲田4-24-12 蒲田医師会館5F	地域包括支援センター
豊島区医師会地域包括支援センター	171-0021	豊島区西池袋3-22-16 豊島区医師会館内	地域包括支援センター
板橋区高島平地域包括支援センター	175-0082	板橋区高島平2-32-2-107	地域包括支援センター
中央区医師会訪問看護ステーションあかし	104-0044	中央区明石町1-6	居宅介護支援事業所
医師会立中央区訪問看護ステーション	103-0001	中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア1F	居宅介護支援事業所
小石川医師会居宅介護支援事業所	112-0002	文京区小石川5-6-9	居宅介護支援事業所
荒川区医師会ケアプランセンター	116-0013	荒川区西日暮里6-5-3 荒川区医師会館別館2F	居宅介護支援事業所
葛飾区医師会指定居宅介護支援事業所	124-0012	葛飾区立石6-8-14 パークアベニュー1F	居宅介護支援事業所
江戸川区医師会訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	132-0021	江戸川区中央4-24-14 江戸川区医師会館内	居宅介護支援事業所
渋谷区ひがし健康プラザ居宅介護支援事業所	150-0011	渋谷区東3-14-13 渋谷区ひがし健康プラザ1F	居宅介護支援事業所
中野区医師会ケアプランセンター	164-8558	中野区中野2-27-17 中野区医師会館内	居宅介護支援事業所
杉並区医師会プランニング・サービス	167-0032	杉並区天沼3-19-14 フェニックス杉並1F	居宅介護支援事業所
大森医師会立訪問看護ステーション	143-0024	大田区中央4-31-14 大森医師会館2F	居宅介護支援事業所
大田区地域包括支援センター新井宿(大森医師会)	143-0024	大田区中央1-21-6 新井宿特別出張所2F	居宅介護支援事業所
大田区地域包括支援センター千束(田園調布医師会)	145-0061	大田区石川町2-7-1 田園調布医師会館内	居宅介護支援事業所
田園調布医師会立訪問看護ステーション	145-0061	大田区石川町2-7-1 田園調布医師会館内	居宅介護支援事業所
北区医師会訪問看護ステーション	114-8575	北区王子2-16-11 北区医師会館内	居宅介護支援事業所
板橋区医師会在宅ケアセンター	175-0082	板橋区高島平2-32-2-107	居宅介護支援事業所
練馬区医師会居宅介護支援事業所	176-0012	練馬区高野台2-23-20	居宅介護支援事業所
調布市医師会指定居宅介護支援事業所	182-0026	調布市小島町3-68-9 調布市医師会館内	居宅介護支援事業所
町田市医師会訪問看護ステーション	194-0023	町田市旭町1-4-5 町田市医師会館内	居宅介護支援事業所
西東京市医師会ケアプランセンター	202-0013	西東京市中町1-1-5 西東京市中町分庁舎	居宅介護支援事業所
八王子市医師会立ケアプランセンター	192-0066	八王子市本町13-2 八王子市医師会館内	居宅介護支援事業所
国分寺市医師会訪問看護ステーション	185-0024	国分寺市泉町2-3-8 国分寺市いずみプラザ2F	居宅介護支援事業所
狛江市医師会訪問看護ステーション	201-0013	狛江市元和泉2-35-1 あいとぴあセンター内	居宅介護支援事業所
小平市医師会ケアマネージメントセンター	187-0032	小平市学園西町3-24-13 小平市医師会館2F	居宅介護支援事業所
武蔵村山市訪問看護ステーション	208-0011	武蔵村山市学園4-5-1 武蔵村山市民総合センター2F	居宅介護支援事業所
渋谷区在宅医療相談窓口	150-0031	渋谷区桜丘町23-21渋谷区文化総合センター大和田1F 区民健康センター桜丘診療所内	在宅医療介護連携
豊島区在宅医療相談窓口	171-0021	豊島区西池袋3-22-16 豊島区医師会館内	在宅医療介護連携
病児保育センターぱるむ光が丘	179-0072	練馬区光が丘5-6-1-101	その他
病児保育センターぱるむ大泉	178-0063	練馬区東大泉1-20-32	その他
医療連携・在宅医療サポートセンター	177-8508	練馬区高野台2-23-20	その他
大森医師会病児保育室PiccoloBosco	143-0024	大田区中央4-31-14 大森医師会館1F	その他
荒川区医師会こどもクリニック	116-0013	荒川区西日暮里6-5-3 荒川区医師会館本館1F	その他
文京区医師会附属診療所	113-0022	文京区千駄木2-26-8	その他

栃木県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
佐野市医師会附属佐野医師会病院	327-0832	佐野市植上町1677	病院
佐野市医師会附属佐野医師会病院検査室	327-0832	佐野市植上町1677	検査センター
佐野市医師会訪問看護ステーション	327-0832	佐野市植上町1677	訪問看護ステーション
佐野市地域包括支援センター佐野市医師会	327-0832	佐野市植上町1677	地域包括支援センター
足利市医師会検査センター	326-0808	足利市本城3丁目2022-1	検査センター
栃木県医師会塩原温泉病院	329-2921	那須塩原市塩原1333	病院

長野県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
松本市医師会検査健診センター	390-0875	松本市城西2-5-5	健診・検査複合体
松本市医師会検査健診センター南分室	399-0037	松本市村井町西2-1-27	健診センター
松本市城山介護老人保健施設	390-0861	松本市大字蟻ヶ崎2132	介護老人保健施設
上田市医師会臨床検査センター	386-0012	上田市中央2-22-10	検査センター
諏訪市地域医療・介護連携推進センター	392-0027	諏訪市湖岸通り5丁目12番5号	在宅医療介護連携

新潟県医師会

施設名	郵便番号	所在地	備考
新潟市医師会メジカルセンター	950-0914	新潟市中央区紫竹山3-3-11 新潟市総合保健医療センター内	健診センター
上越医師会上越地域総合健康管理センター	943-8555	上越市春日野1-2-33	健診・検査複合体
上越医師会訪問看護ステーション	943-8555	上越市春日野1-2-33	訪問看護ステーション
(一財)下越総合健康開発センター	957-8577	新発田市本町4-16-83	健診・検査複合体
(一財)下越総合健康開発センター居宅介護支援センター	957-0061	新発田市住吉町5-4-25	居宅介護支援事業所
(一財)下越総合健康開発センター訪問看護ステーション	957-8577	新発田市本町4-16-83	訪問看護ステーション
新発田西デイサービスセンター	957-0062	新発田市富塚町1-423	その他
新発田中井デイサービスセンター	957-0007	新発田市小舟町2-690	その他
村上市岩船郡医師会訪問看護ステーションふる里	958-0862	村上市若葉町10-7	訪問看護ステーション
新潟県医師会在宅医療推進センター	951-8581	新潟市中央区医学町通2-13	在宅医療介護連携
新潟市医師会在宅医療推進センター	950-0914	新潟市中央区紫竹山3-3-11 新潟市総合保健医療センター5F	在宅医療介護連携
長岡市医療・介護連携推進センター	940-2101	長岡市寺島町653	在宅医療介護連携
上越地域在宅医療推進センター	943-8555	上越市春日野1-2-33	在宅医療介護連携
三条市地域包括ケア総合推進センター	955-0833	三条市大野畑6-86-11	在宅医療介護連携
柏崎市刈羽郡医師会在宅医療推進センター	945-0053	柏崎市鏡町10-10 NTTビル2F	在宅医療介護連携
しばた地域医療介護連携センター	957-8577	新発田市本町4-16-83	在宅医療介護連携
五泉市東蒲原郡医師会在宅医療推進センター	959-1863	五泉市東本町2-6-1	在宅医療介護連携
加茂・田上在宅医療推進センター	959-1313	加茂市幸町1-14-17	在宅医療介護連携
見附市南蒲原郡医師会在宅医療推進センター	954-0051	見附市本所1-2-64	在宅医療介護連携
つまり医療介護連携センター	948-0082	十日町市本町2-226-1 市民交流センター「分じろう」4F	在宅医療介護連携
村上地域在宅医療推進センター	958-0862	村上市若葉町10-7	在宅医療介護連携
小千谷市在宅医療・介護連携支援センター	947-8701	小千谷市大字平沢新田111 厚生連小千谷総合病院内	在宅医療介護連携
魚沼市在宅医療推進センター	946-0001	魚沼市日渡新田34 魚沼市立小出病院内	在宅医療介護連携
糸魚川地域在宅ケア推進センター	941-8502	糸魚川市大字竹ヶ花457-1 厚生連糸魚川総合病院内	在宅医療介護連携
燕市医師会在宅医療推進センター	959-0231	燕市吉田日ノ出町1-1 燕市民交流センター2F	在宅医療介護連携
南魚沼地域在宅医療推進センター	949-6680	南魚沼市六日町2643-1 南魚沼市民病院内	在宅医療介護連携
佐渡市在宅医療推進センター	952-1209	佐渡市千種161 厚生連佐渡総合病院内	在宅医療介護連携

医師会立看護師等養成所一覧

山梨県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
甲府看護専門学校	400-0026	甲府市塩部3-1-4	看３年
甲府看護専門学校	400-0026	甲府市塩部3-1-4	看２年
甲府看護専門学校	400-0026	甲府市塩部3-1-4	准看

茨城県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
茨城県きぬ看護専門学校	303-0003	常総市水海道橋本町3173-15	看３年
日立メディカルセンター看護専門学校	317-0066	日立市高鈴町1-4-10	看３年
水戸市医師会看護専門学院	311-4153	水戸市河和田町107-2	看２年
日立メディカルセンター看護専門学校	317-0066	日立市高鈴町1-4-10	看２年
水戸市医師会看護専門学院	311-4153	水戸市河和田町107-2	准看
土浦市医師会附属准看護学院	300-0052	土浦市東真鍋町2-39	准看
鹿島医師会附属准看護学院	314-0031	鹿嶋市宮中1998-2	准看
真壁医師会准看護学院	308-0841	筑西市二木成827-1	准看

神奈川県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
神奈川県立衛生看護専門学校	231-0836	横浜市中区根岸町2-85-2	助産師
横浜市医師会聖灯看護専門学校	230-0047	横浜市鶴見区下野谷町3-88-16	看３年
おだわら看護専門学校	250-0055	小田原市久野115-2	看３年
湘南看護専門学校	251-0861	藤沢市大庭5062-3	看３年
神奈川県立衛生看護専門学校	231-0836	横浜市中区根岸町2-85-2	看３年
横須賀市立看護専門学校	238-0017	横須賀市上町2-36	看３年
相模原看護専門学校	252-0325	相模原市南区新磯野4-1-1	看３年

群馬県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
高崎市医師会看護専門学校助産学科	370-0006	高崎市問屋町4-8-11	助産師
伊勢崎佐波医師会立伊勢崎敬愛看護学院	372-0024	伊勢崎市下植木町461-1	看３年
渋川看護専門学校	377-0027	渋川市金井356	看３年
前橋市医師会立前橋高等看護学院	371-0035	前橋市岩神町2-3-5	看２年
高崎市医師会看護専門学校看護学科	370-0006	高崎市問屋町4-8-11	看２年
桐生市医師会立桐生高等看護学院	376-0027	桐生市元宿町18-2	看２年
富岡看護専門学校	370-2343	富岡市七日市553-1	看２年
前橋市医師会立前橋准看護学校	371-0035	前橋市岩神町2-3-5	准看
高崎市医師会看護専門学校准看護学科	370-0006	高崎市問屋町4-8-11	准看
桐生市医師会立桐生准看護学校	376-0027	桐生市元宿町18-2	准看
藤岡准看護学校	375-0024	藤岡市藤岡1860-1	准看
富岡市甘楽郡医師会立富岡准看護学校	370-2343	富岡市七日市553-1	准看
安中市医師会立安中准看護学校	379-0116	安中市安中1-1-20	准看
吾妻郡医師会立吾妻准看護学校	377-0423	吾妻郡中之条町伊勢町25-9	准看
沼田准看護学校	378-0051	沼田市上原町1801-68	准看

埼玉県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
熊谷市医師会看護専門学校	360-0812	熊谷市大原1-5-28	看２年
蕨戸田市医師会看護専門学校	335-0021	戸田市大字新曽1295-3	看３年
上尾市医師会上尾看護専門学校	362-0021	上尾市原市3494-4	看３年
坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校	350-0212	坂戸市大字石井2326-16	看３年
秩父看護専門学校	368-0032	秩父市熊木町3-9	看３年
本庄児玉看護専門学校	369-0307	児玉郡上里町嘉美立野南1600-51	看３年
南埼玉郡市医師会久喜看護専門学校	346-0005	久喜市本町5-10-12	看３年
大宮医師会看護専門学校	330-0842	さいたま市大宮区浅間町2-140	看２年
川越市医師会川越看護専門学校	350-0036	川越市小仙波町2-53-1	看２年
所沢市医師会立所沢看護専門学校	359-0025	所沢市上安松1224-7	看２年
朝霞地区医師会立朝霞地区看護専門学校	351-0102	和光市諏訪2-4	看２年
飯能看護専門学校	357-0016	飯能市大字下加治359	看２年
大宮医師会立大宮准看護学校	331-8689	さいたま市北区東大成町2-107	准看
川越市医師会川越看護専門学校	350-0036	川越市小仙波町2-53-1	准看
熊谷市医師会看護専門学校	360-0812	熊谷市大原1-5-28	准看
所沢市医師会立所沢准看護学院	359-0025	所沢市上安松1224-7	准看
桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校	364-0014	北本市二ツ家3-183	准看
鴻巣准看護学校	365-0032	鴻巣市中央2-2	准看
比企医師会立比企准看護学校	355-0016	東松山市材木町2-36	准看
朝霞准看護学校	351-0011	朝霞市本町1-7-3	准看
草加八潮医師会准看護学校	340-0022	草加市瀬崎5-34-5	准看
入間地区医師会立入間准看護学校	358-0014	入間市宮寺528-2	准看
飯能看護専門学校	357-0016	飯能市大字下加治359	准看
狭山市医師会立狭山准看護学校	350-1304	狭山市狭山台1-21	准看
本庄准看護学校	367-0061	本庄市小島6-8-8	准看
北埼玉医師会准看護学校	348-0058	羽生市中央1-2-3	准看

千葉県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
市原看護専門学校	290-0062	市原市八幡1050	看２年
君津木更津医師会立木更津看護学院	292-0832	木更津市新田3-4-30	准看
夷隅医師会立夷隅准看護師学校	298-0004	いすみ市大原8846	准看
香取郡市医師会附属佐原准看護学校	287-0001	香取市佐原ロ2097-72	准看
市原看護専門学校	290-0062	市原市八幡1050	准看

東京都医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
江戸川看護専門学校	134-0015	江戸川区西瑞江5-1-6 江戸川区医師会地域医療支援センター2～4階	看３年
葛飾区医師会附属看護専門学校	124-0011	葛飾区四つ木1-6-5	看２年
下谷医師会立看護高等専修学校	110-0015	台東区東上野3-38-1	准看
葛飾区医師会附属看護専門学校	124-0011	葛飾区四つ木1-6-5	准看
世田谷区医師会立看護高等専修学校	156-0043	世田谷区松原6-37-10-4F	准看
板橋区医師会立看護高等専修学校	175-0082	板橋区高島平3-12-6	准看

栃木県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
佐野市医師会附属佐野准看護学校	327-0832	佐野市植上町1678	准看
上都賀郡市医師会附属准看護学校	322-0254	鹿沼市上久我60-3	准看
足利市医師会付属准看護学校	326-0808	足利市本城3-2022-1	准看
宇都宮市医療保健事業団附属 宇都宮准看護高等専修学校	321-0974	宇都宮市竹林町968	准看

長野県医師会

学校名	郵便番号	所在地	備考
長野看護専門学校	380-0928	長野市若里7-1-5	看３年
松本看護専門学校	390-0875	松本市城西2-5-5	看３年
小諸看護専門学校	384-0025	小諸市相生町3-3-1	看３年
長野看護専門学校	380-0928	長野市若里7-1-5	看２年
上田看護専門学校	386-0012	上田市中央2-22-10	看２年
長野看護専門学校	380-0928	長野市若里7-1-5	准看
岡谷市医師会附属准看護学院	394-0027	岡谷市中央町2-5-22	准看
上伊那医師会附属准看護学院	396-0014	伊那市狐島4176	准看
上田看護専門学校	386-0012	上田市中央2-22-10	准看
諏訪市医師会附属准看護学院	392-0027	諏訪市湖岸通り5-12-5	准看